

IV 小学生調査結果

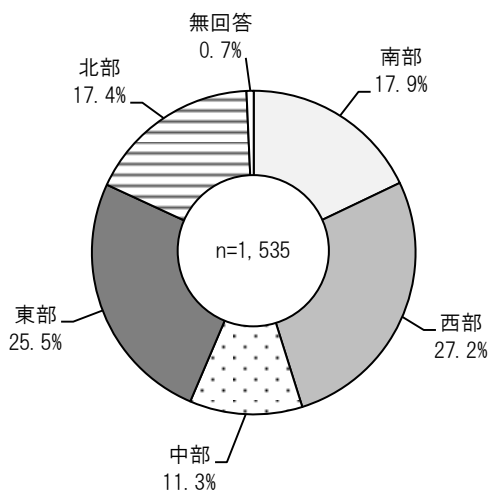
1. 回答者、家族の状況などについて

問1 お住まいの地区（町丁目）をお答えください。

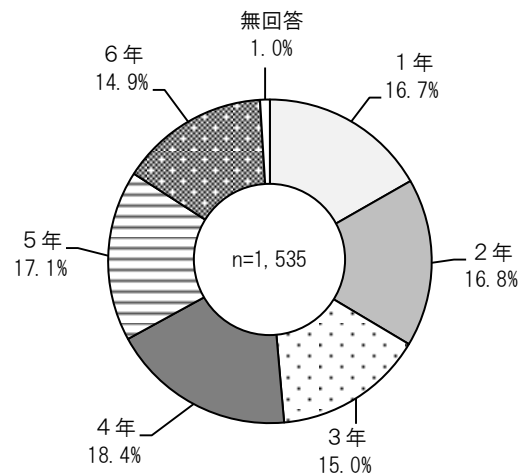
問2 あて名のお子さんの学校名・学年をお答えください。

- ・居住地区は、「西部」が27.2%ともっとも高く、次いで「東部」が25.5%となっている。
- ・子どもの学年は、「4年」が18.4%ともっとも高く、次いで「5年」が17.1%となっている。

図表 4-1 居住地区



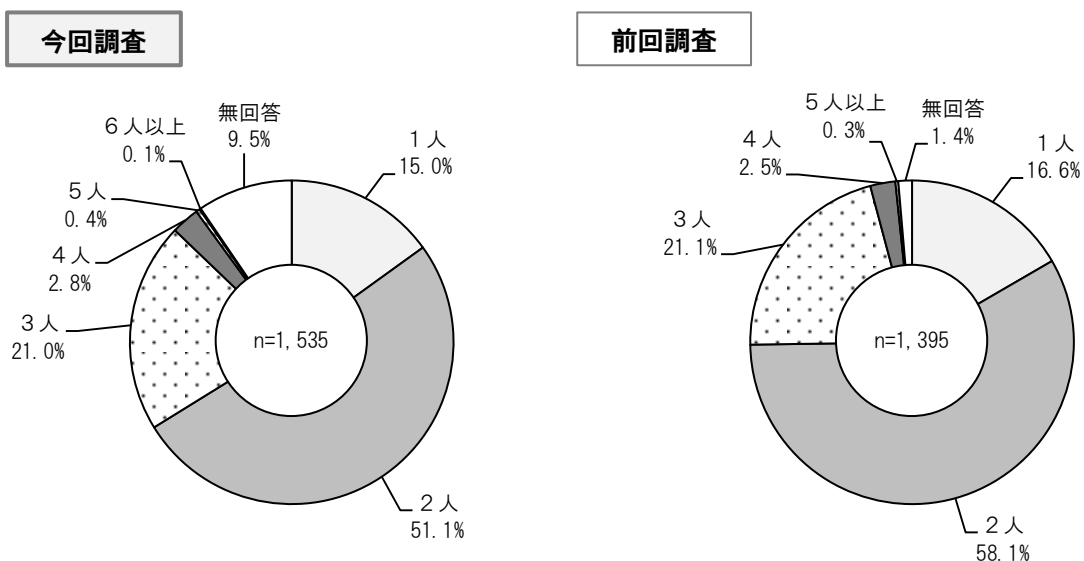
図表 4-2 子どもの学年



問3 お子さんの数をお答えください。なお、お子さんが2人以上いる場合は、あて名のお子さんを含め、末子の生年月を記入してください。

- ・子どもの数は、「2人」が51.1%ともっとも高く、次いで「3人」が21.0%となっている。

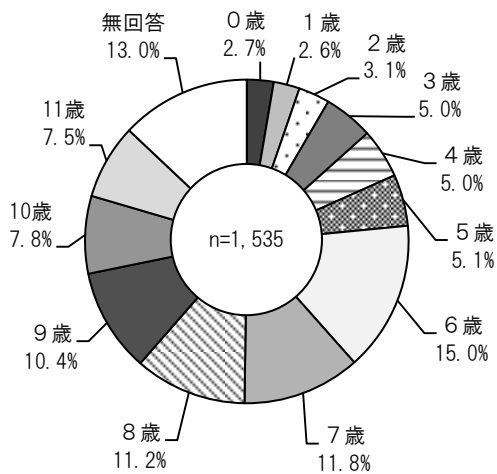
図表 4-3.1 子どもの数<経年比較>



IV 小学生調査結果

・末子の年齢は、「6歳」が15.0%ともっとも高く、次いで「7歳」が11.8%となっている。

図表 4-3.2 末子の年齢

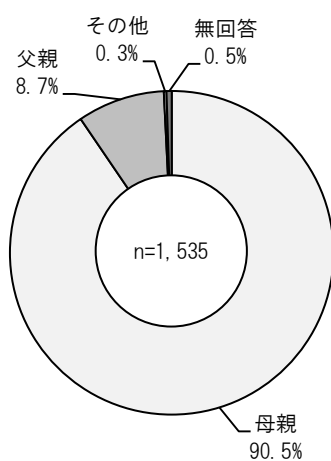


問4 このアンケートにご回答いただく方は、あて名のお子さんからみてどなたですか。(1つに○)

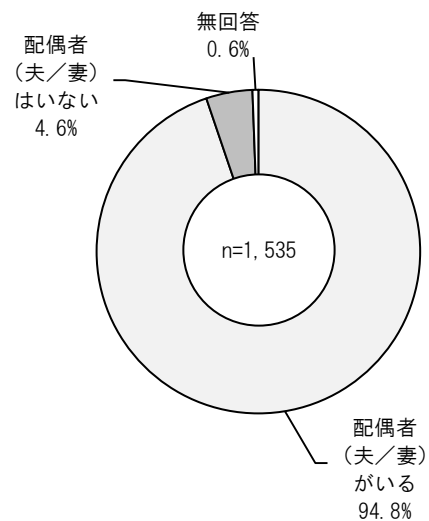
問5 このアンケートにご回答いただく方の配偶関係をお答えください。(1つに○)

・回答者は、「母親」が90.5%となっている。
 ・回答者の配偶関係は、「配偶者(夫/妻)がいる」が94.8%となっている。

図表 4-4 回答者の続柄



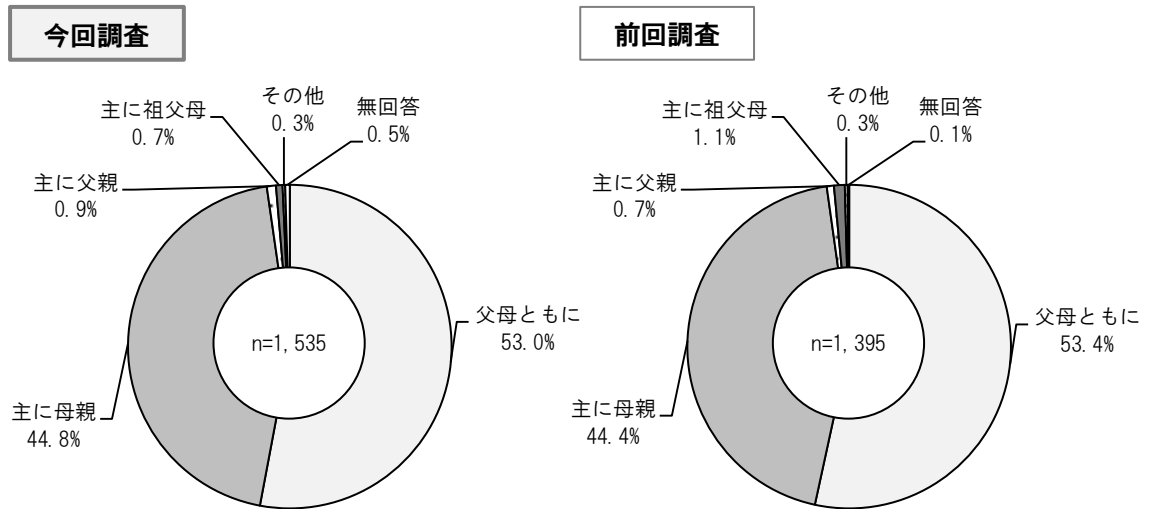
図表 4-5 回答者の配偶関係



問6 あて名のお子さんからみて、子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。
(1つに○)

・主な保育・教育者は、「父母ともに」が53.0%、「主に母親」が44.8%となっている。

図表 4-6 主な保育・教育者<経年比較>

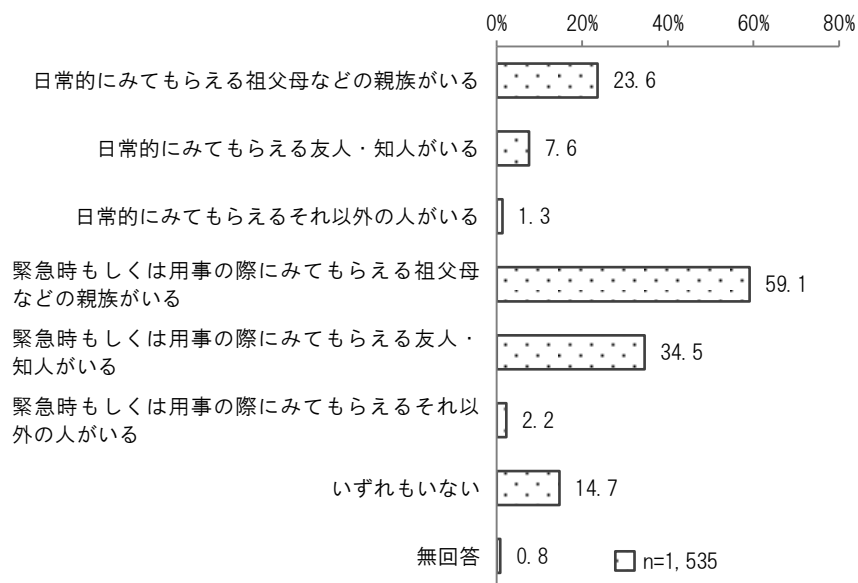


2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人などはいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- 日常的に子どもをみてもらえる状況は、「日常的にみてもらえる祖父母などの親族がいる」が23.6%となっている。
- 緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもらえる状況は、「緊急時もしくは用事の際にみてもらえる祖父母などの親族がいる」が59.1%、「緊急時もしくは用事の際にみてもらえる友人・知人がいる」が34.5%となっている。
- 一方、「いずれもない」が14.7%となっている。

図表 4-7 子どもをみてもらえる状況（複数回答）

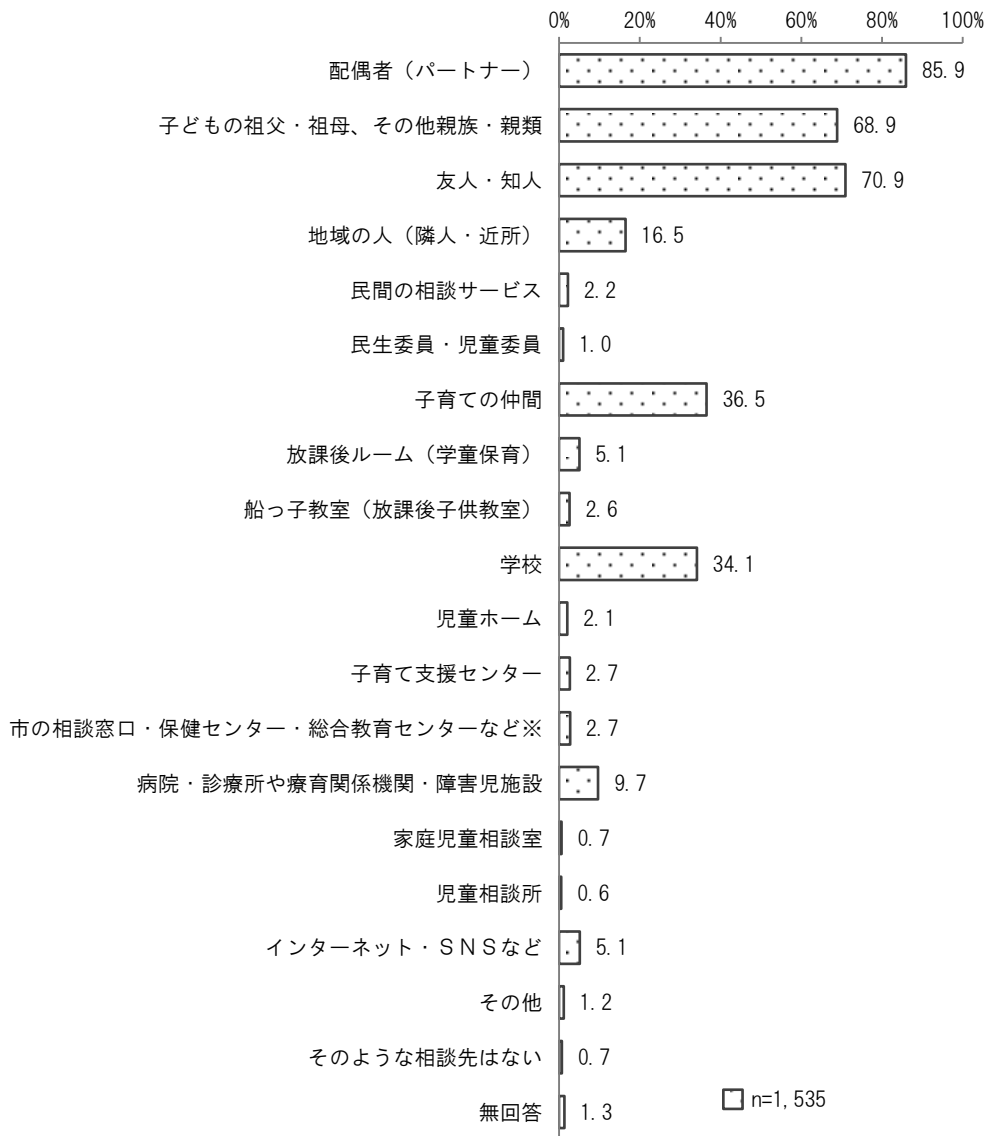


問8 あて名のお子さんの子育てや教育に関して、①気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。また、②情報は何かから得ていますか。
 (①・②それぞれあてはまる番号すべてに○)

①相談先

・子育てや教育に関する相談先は、「配偶者(パートナー)」が85.9%と最も高く、次いで「友人・知人」が70.9%、「子どもの祖父・祖母、その他親族・親類」が68.9%となっている。

図表 4-8.1 子どもの子育てや教育に関する相談先(複数回答)

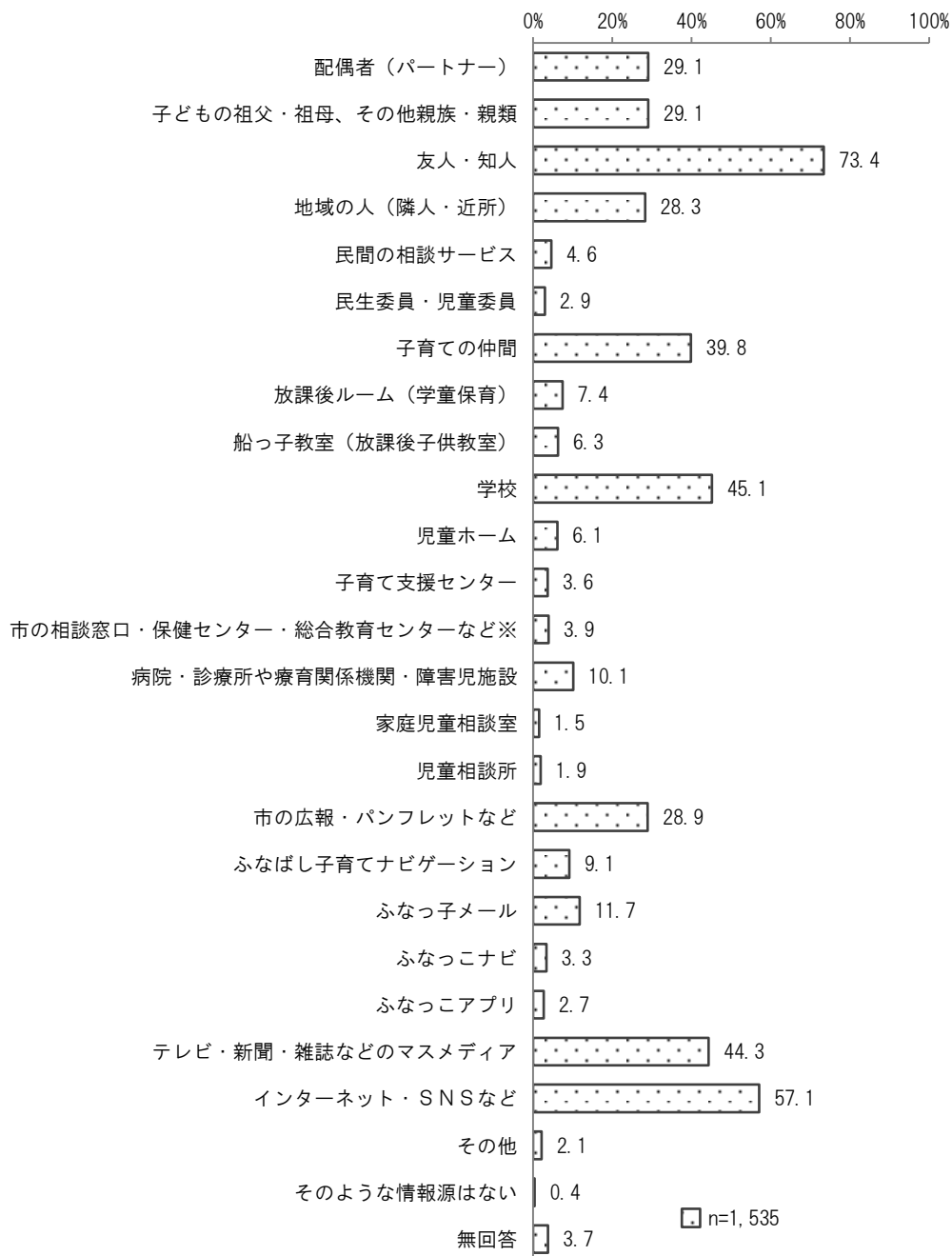


※市の相談窓口・保健センター・総合教育センター・青少年センター・男女共同参画センター・こども発達相談センターなど

②情報源

・子育てや教育に関する情報源は、「友人・知人」が73.4%ともっとも高く、次いで「インターネット・SNSなど」が57.1%、「学校」が45.1%となっている。

図表 4-8.2 子どもの子育てや教育に関する情報源（複数回答）

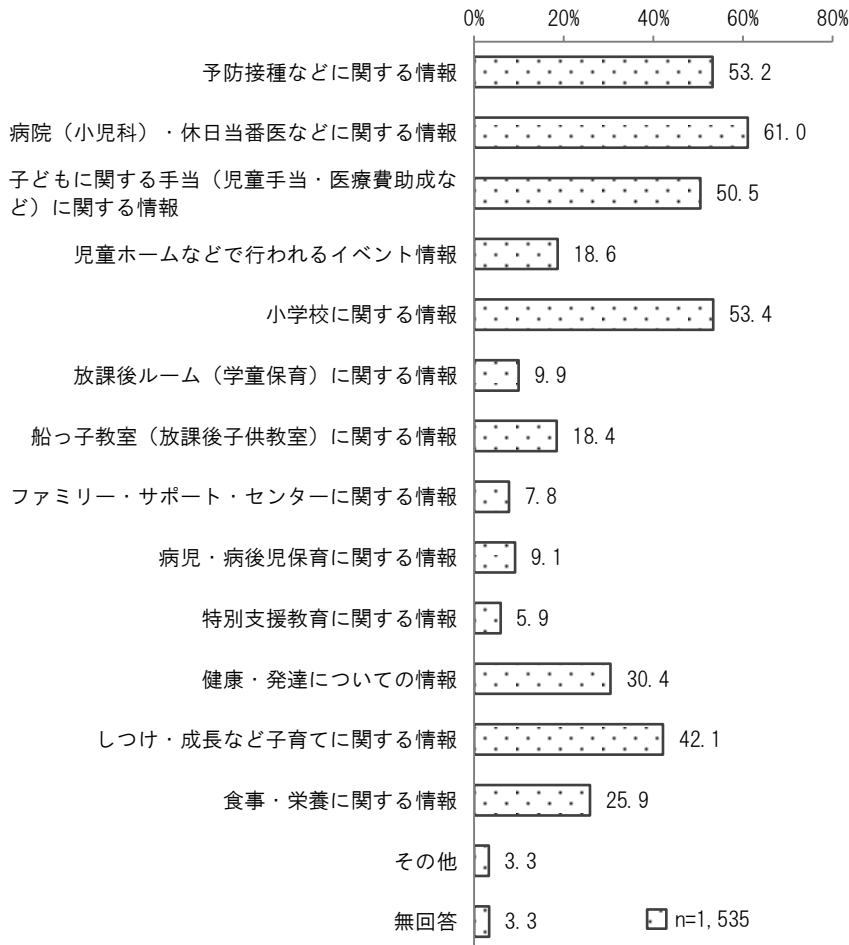


※市の相談窓口・保健センター・総合教育センター・青少年センター・男女共同参画センター・こども発達相談センターなど

問8-1 あなたは、どのような子育て情報を知りたいと考えていますか。
(あてはまる番号すべてに○)

・知りたい子育て情報は、「病院（小児科）・休日当番医などに関する情報」が61.0%ともっとも高く、次いで「小学校に関する情報」が53.4%、「予防接種などに関する情報」が53.2%となっている。

図表 4-8-1 知りたい子育て情報（複数回答）



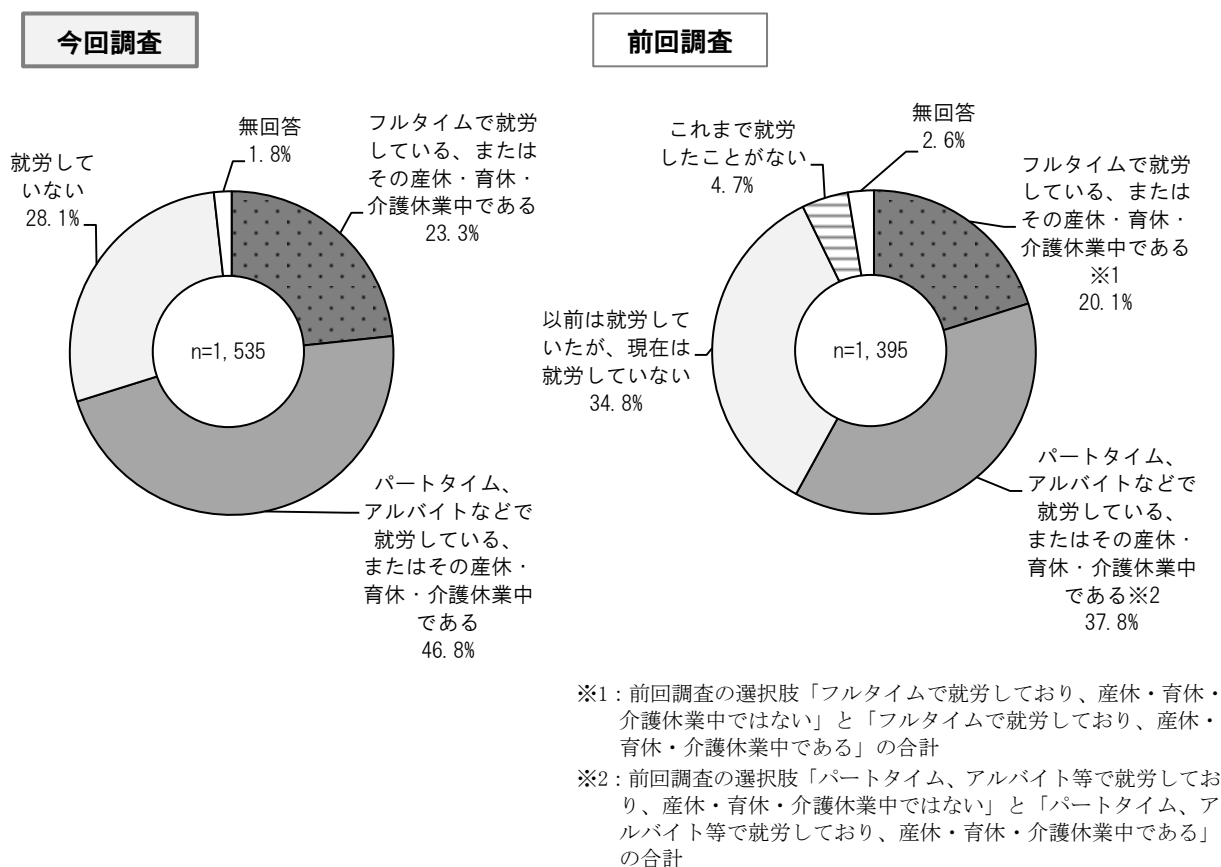
3. 保護者（父母）の就労状況について

問 10 あて名のお子さんの保護者（父母）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（（1）・（2）それぞれ1つに○）

（1）お母さん

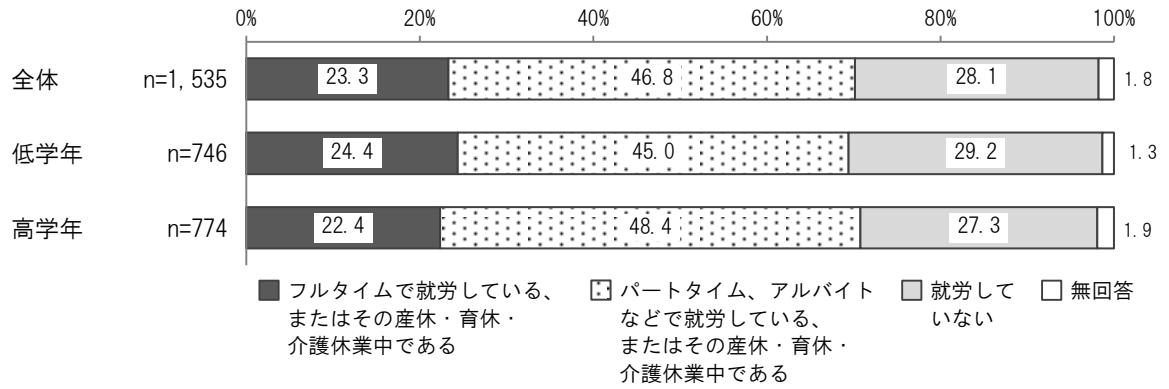
- ・母親の就労状況は、「パートタイム、アルバイトなどで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」が46.8%となっており、「フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」を含めた就労割合は70.1%となっている。
- ・前回調査では、フルタイムとパートタイム等を合わせた就労割合は57.9%となっており、10ポイント以上増加している。

図表 4-10.1 【母親】 就労状況<経年比較>



・母親の就労状況を低学年・高学年別にみると、「低学年」では「フルタイム」が 24.4%、「パート等」が 45.0%となっている。
 ・「高学年」では「フルタイム」が 22.4%、「パート等」が 48.4%となっている。

図表 4-10.2 【母親】就労状況<低学年・高学年別>

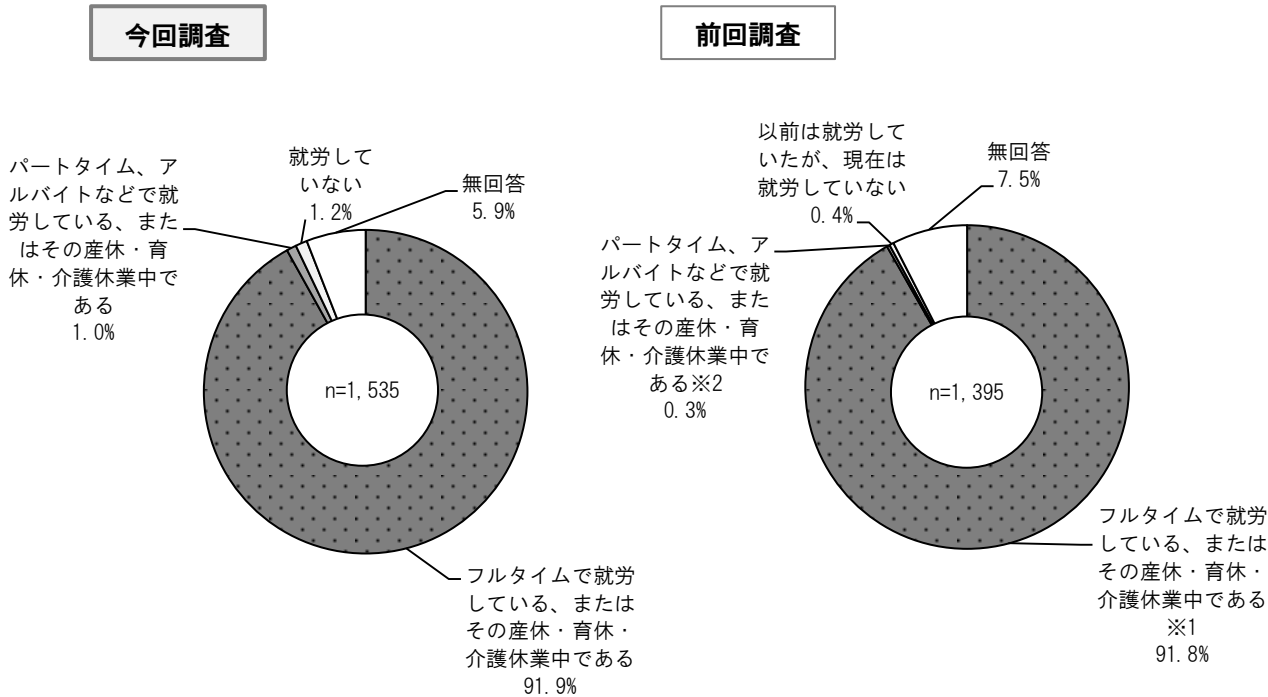


IV 小学生調査結果

(2) お父さん

・父親の就労状況は「フルタイム」が90%以上を占めており、前回調査と大きな差はみられない。

図表 4-10.3 【父親】就労状況<経年比較>



※1：前回調査の選択肢「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」の合計

※2：前回調査の選択肢「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」の合計

※「これまで就労したことがない」0.0%は省略

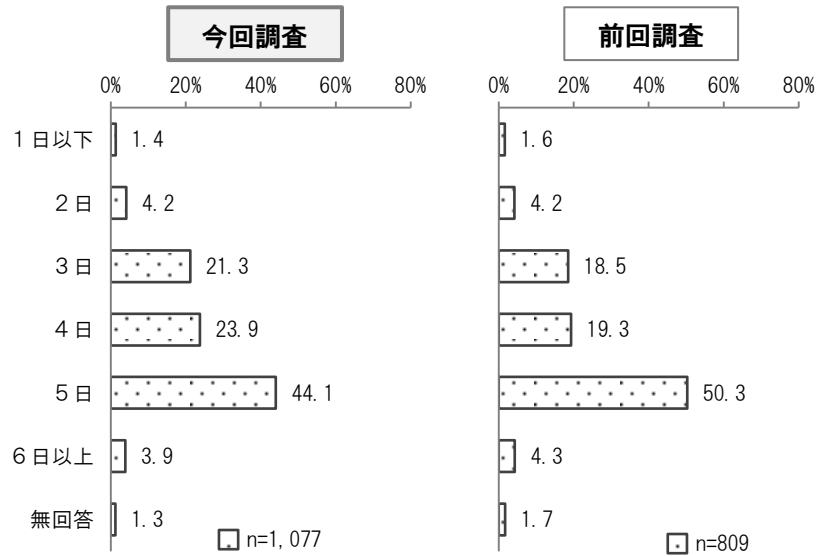
【問 10-1 は、問 10 で「フルタイムで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」「パートタイム、アルバイトなどで就労している、またはその産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にかがいます。】

問 10-1 就労日数や就労時間、また家を出る時刻、家に帰る時刻をお答えください。

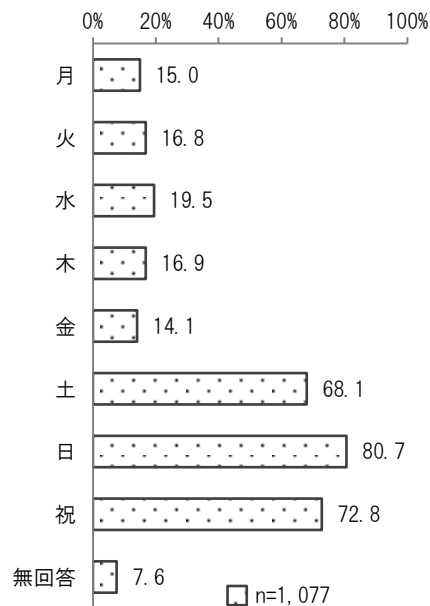
(1) お母さん ① 1 週あたりの就労日数と休日

- 母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が44.1%となっており、前回調査より6.2ポイント減少している。
- 母親の休日は「日」が80.7%、「祝」が72.8%、「土」が68.1%となっている。

図表 4-10-1.1 【母親】 就労日数<経年比較>



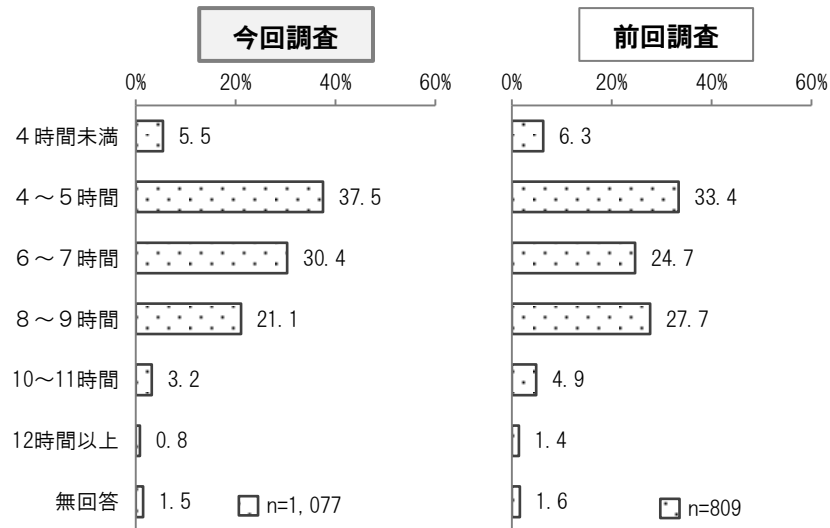
図表 4-10-1.2 【母親】 休日 (複数回答)



(1) お母さん ② 1日あたりの就労時間（残業時間含む）

- 母親の1日あたりの就労時間は、「4～5時間」が37.5%ともっとも高く、次いで「6～7時間」が30.4%となっている。
- 前回調査と比べると、「8～9時間」が6.6ポイント減少している一方、「6～7時間」が5.7ポイント増加している。

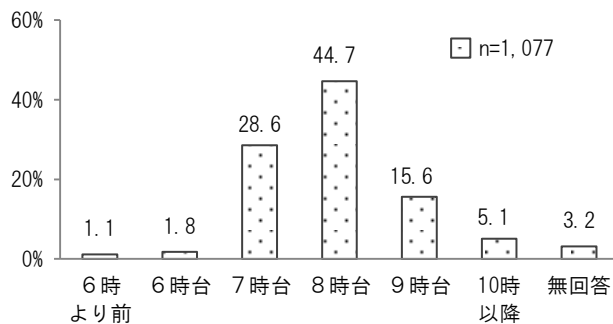
図表 4-10-1.3 【母親】 就労時間<経年比較>



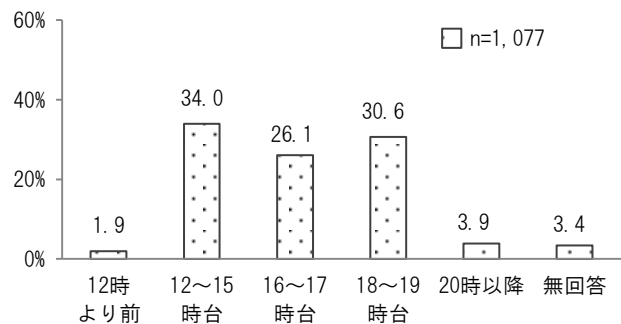
(1) お母さん ③ 家を出る時刻 ④ 家に帰る時刻

- 母親の家を出る時刻は、「8時台」が44.7%ともっとも高く、次いで「7時台」が28.6%となっている。
- 母親の家に帰る時刻は、「12～15時台」が34.0%ともっとも高く、次いで「18～19時台」が30.6%となっている。

図表 4-10-1.4 【母親】 家を出る時刻



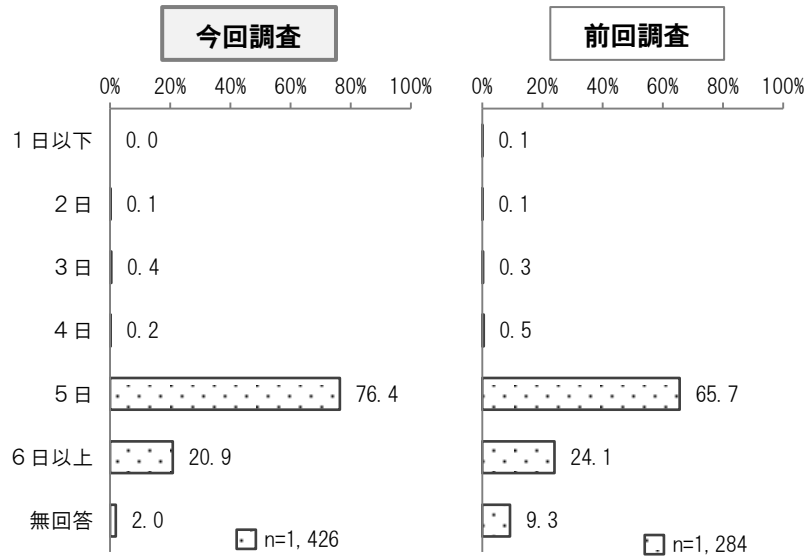
図表 4-10-1.5 【母親】 家に帰る時刻



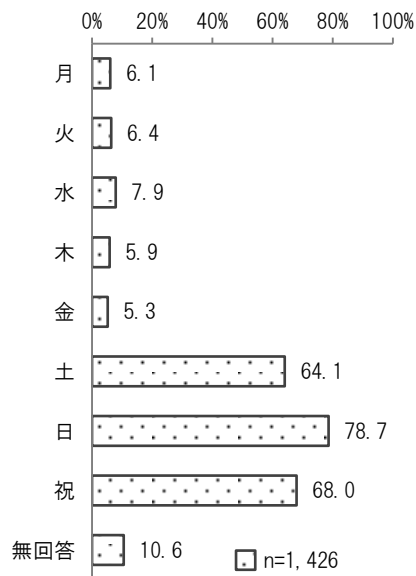
(2) お父さん ① 1週あたりの就労日数と休日

- 父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が76.4%となっている。
- 父親の休日は「日」が78.7%であり、「土」「祝」が60%台となっている。

図表 4-10-1.6 【父親】 就労日数<経年比較>



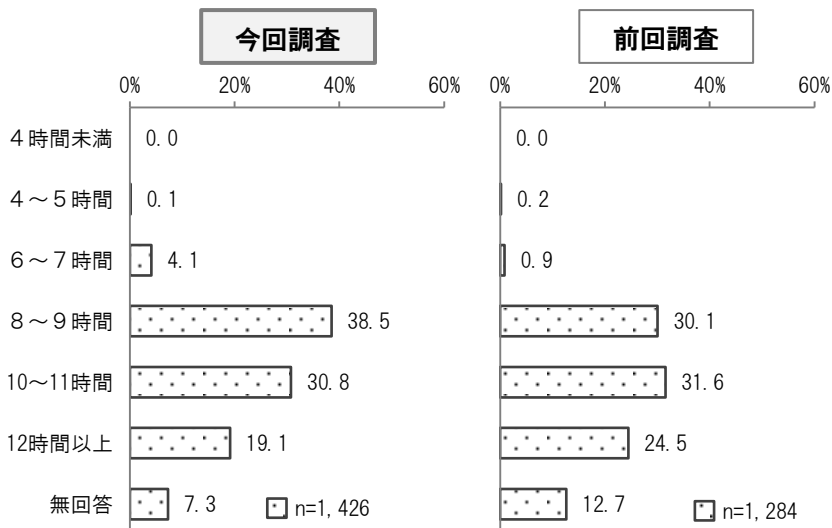
図表 4-10-1.7 【父親】 休日 (複数回答)



(2) お父さん ②1日あたりの就労時間(残業時間含む)

- 父親の1日あたりの就労時間は、「8～9時間」が38.5%と最も高く、次いで「10～11時間」が30.8%となっている。
- 前回調査と比べると、「8～9時間」が8.4ポイント増加し、「12時間以上」が5.4ポイント減少している。

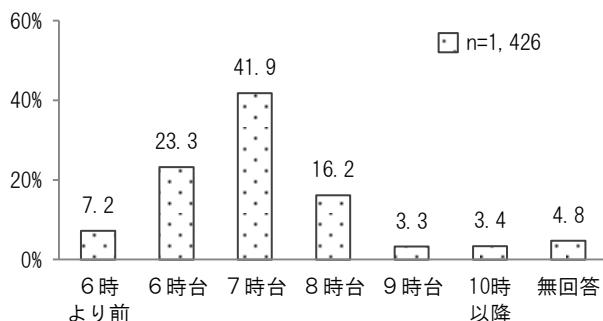
図表 4-10-1.8【父親】就労時間<経年比較>



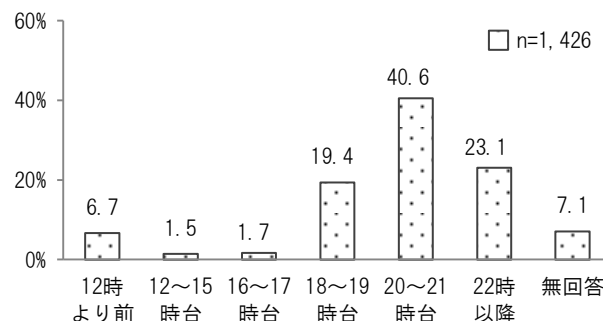
(2) お父さん ③家を出る時刻 ④家に帰る時刻

- 父親の家を出る時刻は、「7時台」が41.9%と最も高く、次いで「6時台」が23.3%となっている。
- 父親の家に帰る時刻は、「20～21時台」が40.6%と最も高く、次いで「22時以降」が23.1%となっている。

図表 4-10-1.9【父親】家を出る時刻



図表 4-10-1.10【父親】家に帰る時刻



【すべての方にうかがいます。】

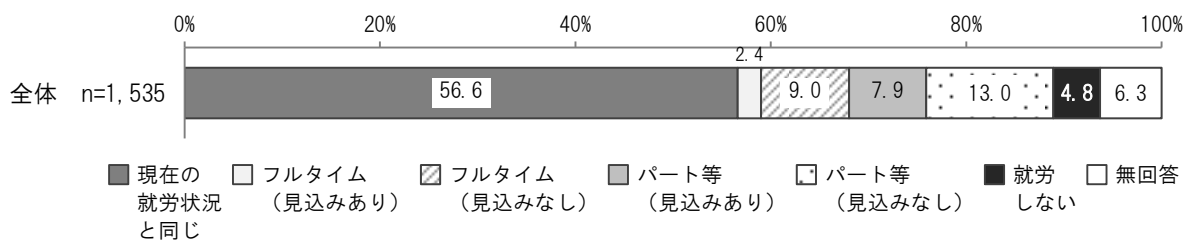
問 10-2 今後、希望する働き方（就労形態）についてうかがいます。

（（1）・（2）それぞれ1つに○）

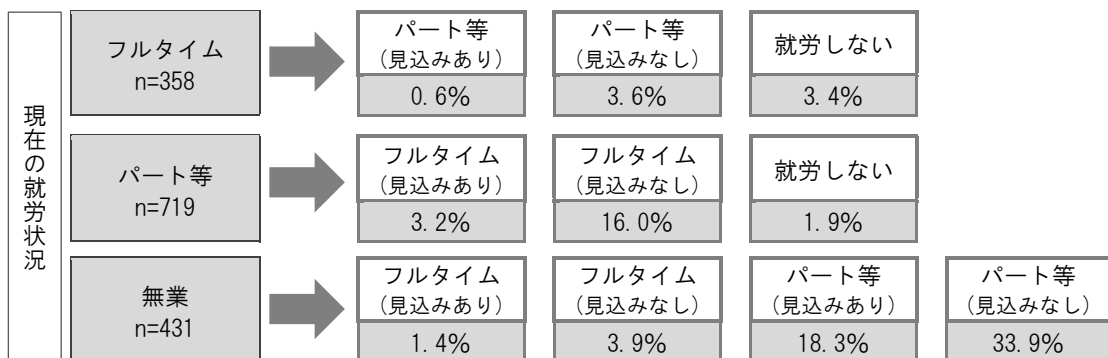
（1）お母さん

- 母親の希望する就労形態は、「現在の就労状況と同じ」が56.6%と最も高く、次いで「パート等（見込みなし）」が13.0%となっている。
- 現在「フルタイム」から「パート等」への転換希望が4.2%、現在「パート等」から「フルタイム」への転換希望が19.2%、現在「無業」から「フルタイム」「パート等」への転換希望が57.5%となっている。
- 母親が1年以内の実現見込みの有無にかかわらず、希望通りの就労形態に転換した場合、「フルタイム」が31.7%、「パート等」が51.0%、「無業」が10.9%となり、現在の就労状況と比べると、「フルタイム」が8.4ポイント、「パート等」が4.2ポイント増加する。

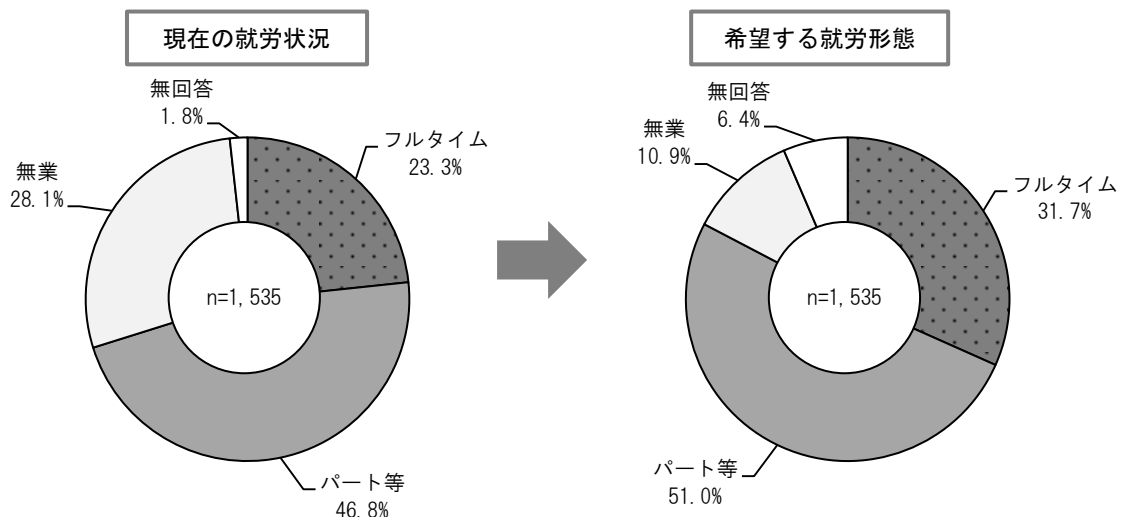
図表 4-10-2.1 【母親】 今後希望する就労形態



図表 4-10-2.2 【母親】 現在の就労状況からの転換希望



図表 4-10-2.3 【母親】 現在の就労状況と希望する就労形態

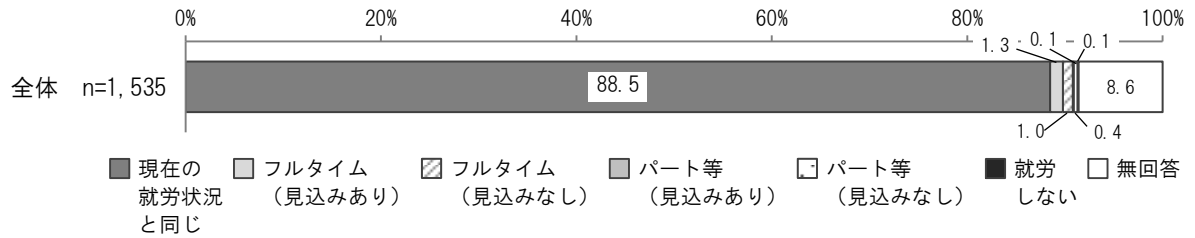


IV 小学生調査結果

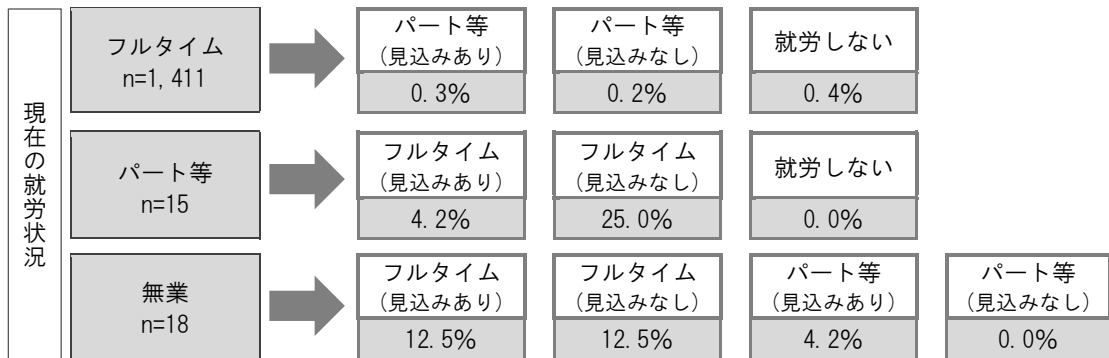
(2) お父さん

・父親の希望する就労形態は、「現在の就労状況と同じ」が88.5%となっている。

図表 3-10-2.4 【父親】 今後希望する就労形態



図表 3-10-2.5 【父親】 現在の就労状況からの転換希望



4. 子育て関係のサービスの利用について

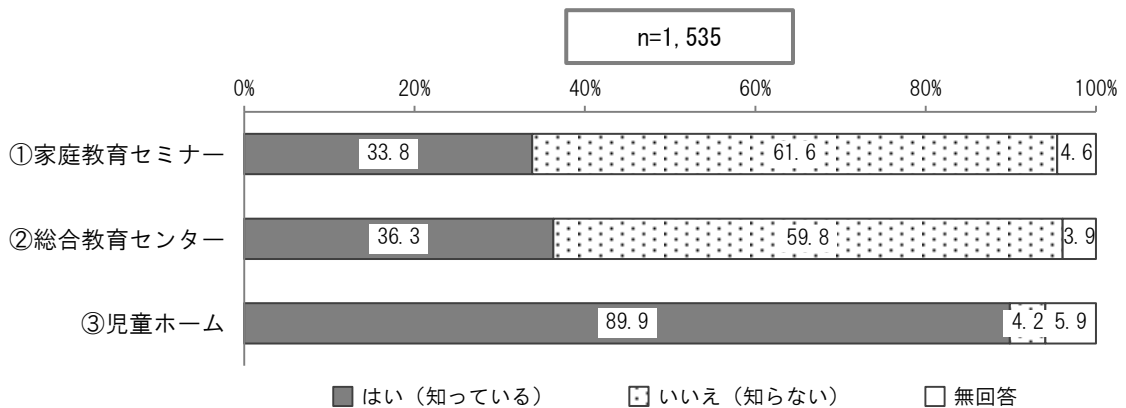
問 11 以下の①～③で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、また、今後利用したいと思うものはありますか。

(①～③ごとに、A、B、Cそれぞれ1つに○)

A 知っている

・子育て関係のサービス等の認知度（「知っている」の割合）は、「①家庭教育セミナー」が33.8%、「②総合教育センター」が36.3%、「③児童ホーム」が89.9%となっている。

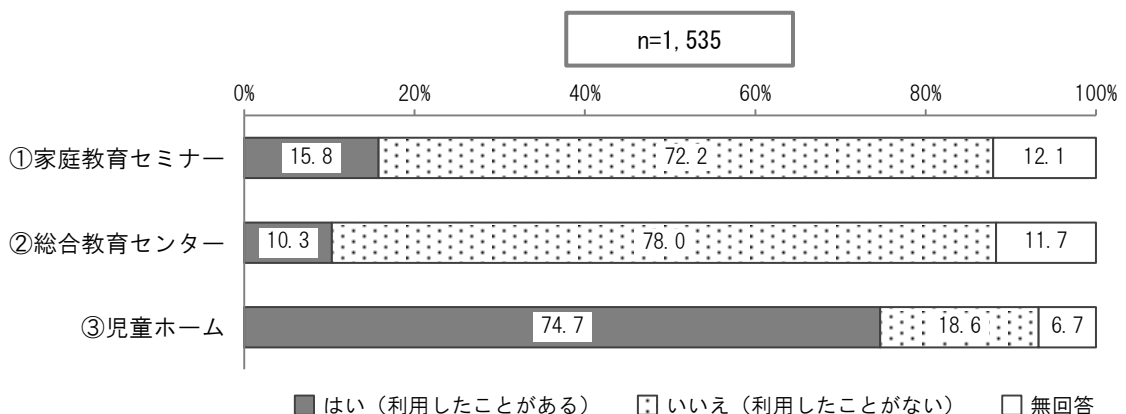
図表 4-11.1 子育て関係サービス等の認知度



B これまでに利用したことがある

・子育て関係のサービス等の利用状況（「利用したことがある」の割合）は、「①家庭教育セミナー」が15.8%、「②総合教育センター」が10.3%、「③児童ホーム」が74.7%となっている。

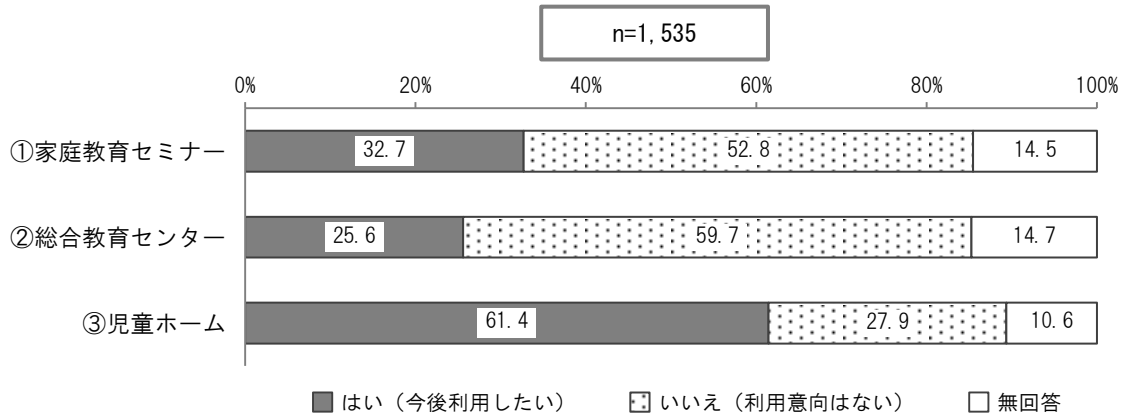
図表 4-11.2 子育て関係サービス等の利用状況



C 今後利用したい+現在も利用しているが、今後も利用したい

・子育て関係のサービス等の利用希望（「今後利用したい」の割合）は、「①家庭教育セミナー」が32.7%、「②総合教育センター」が25.6%、「③児童ホーム」が61.4%となっている。

図表 4-11.3 子育て関係サービス等の利用希望

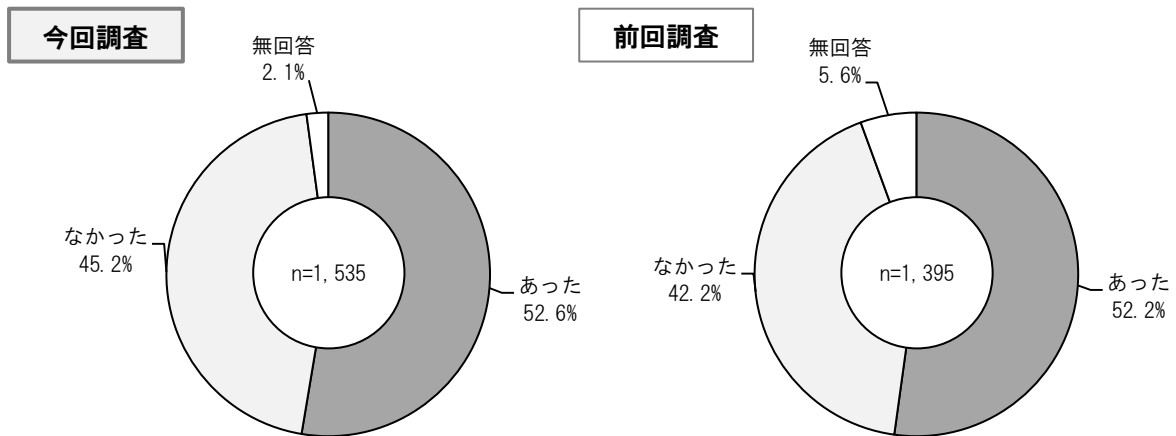


5. 病気やケガの際の対応について

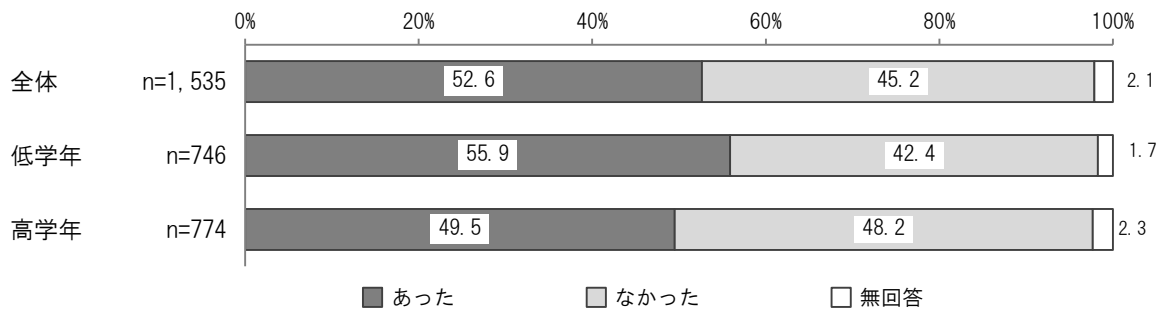
問 12 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校に登校できなかったことはありますか。

- この1年間に子どもが病気やケガで登校できなかったことは、「あった」が52.6%となっている。
- 前回調査と比べると、大きな差はみられない。
- 低学年・高学年別にみると、「あった」が「低学年」では55.9%であり、「高学年」の49.5%より6.4ポイント高くなっている。
- 家庭類型別にみると、「あった」が「フル×フル」では58.3%、「フル×パート」では53.2%、「フル×無業」では50.1%となっている。

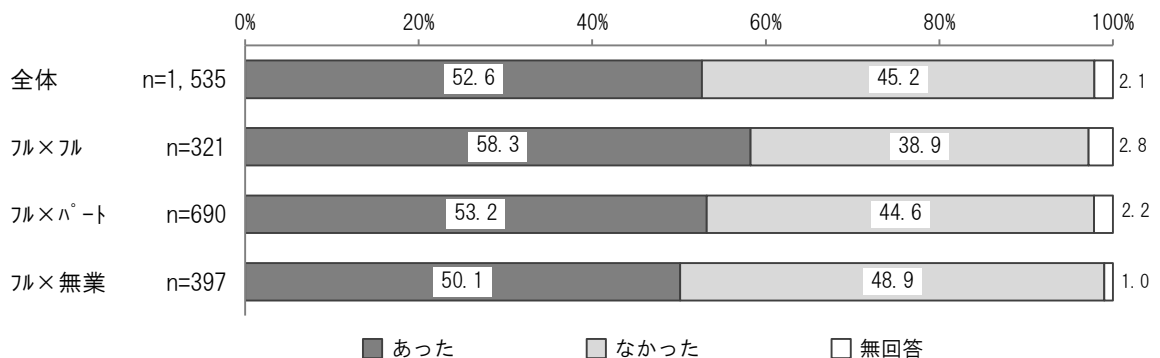
図表 4-12.1 子どもが病気等で登校できなかったこと<経年比較>



図表 4-12.2 子どもが病気等で登校できなかったこと<低学年・高学年別>



図表 4-12.3 子どもが病気等で登校できなかったこと<家庭類型別>



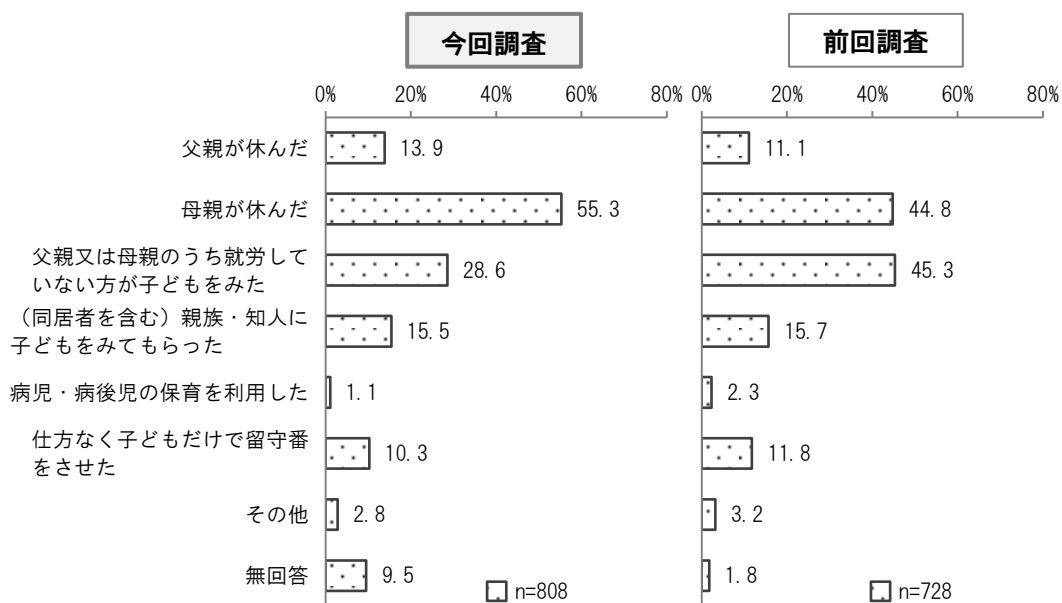
IV 小学生調査結果

【問 12 で「あった」に○をつけた方にうかがいます。】

問 12-1 あて名のお子さんが病気やケガで学校に登校できなかった場合に、この1年間にどのように対処しましたか。また、それぞれの日数も記入してください（半日程度の対応の場合も1日とカウント）。

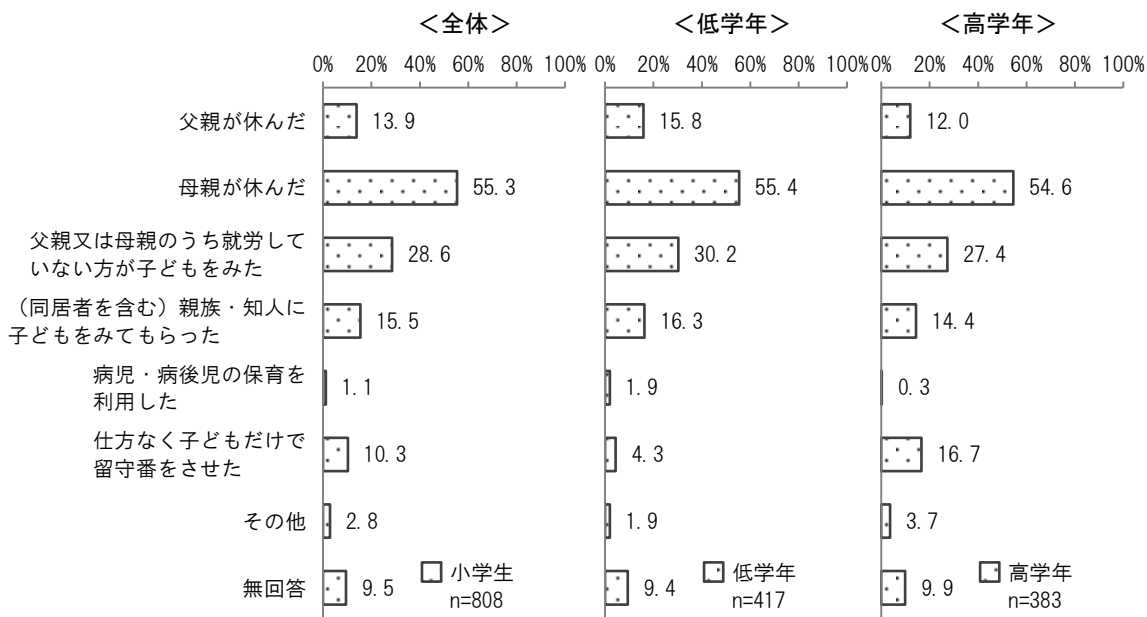
- 子どもが病気やケガで登校できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が55.3%と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が28.6%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が15.5%となっている。
- 前回調査と比べると、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が16.7ポイント減少している一方、「母親が休んだ」が10.5ポイント増加している。

図表 4-12-1.1 子どもが病気等で登校できなかった場合の対処方法（複数回答）＜経年比較＞

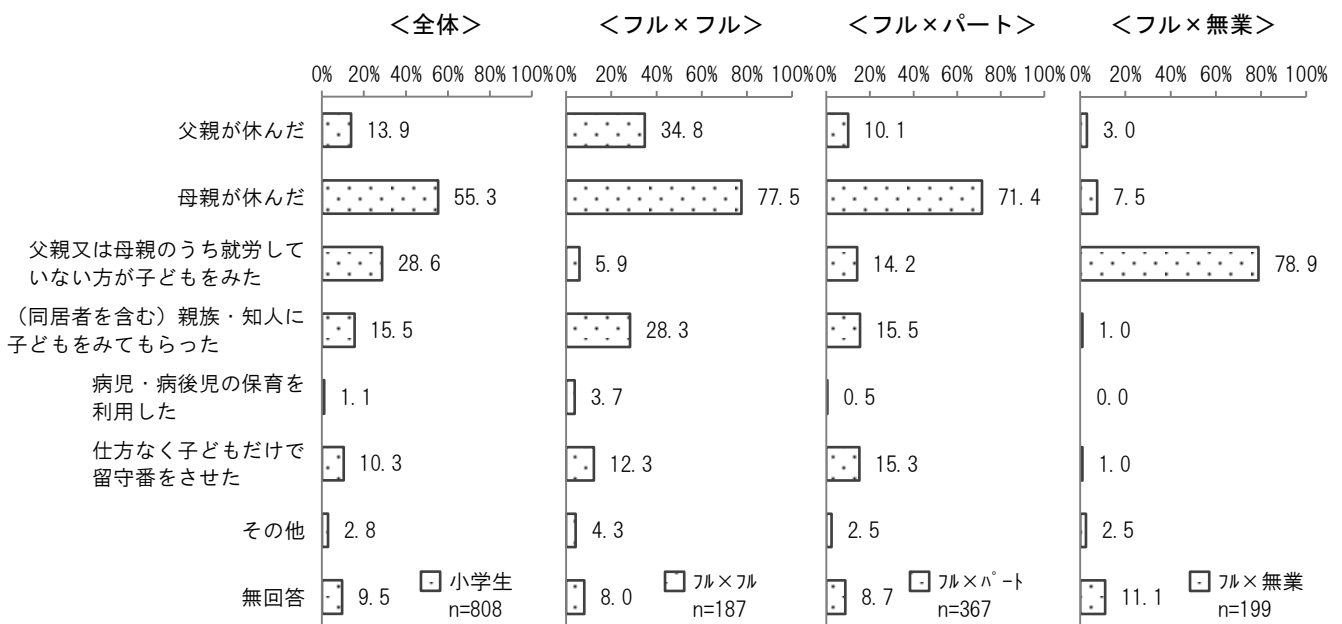


- 子どもが病気やケガで登校できなかった場合の対処方法を低学年・高学年別にみると、上位の項目順は変わらないが、「高学年」では「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が16.7%であり、「低学年」より12.4ポイント高くなっている。
- 家庭類型別にみると、「フル×フル」「フル×パート」では「母親が休んだ」が70%を超えており、「フル×フル」では「父親が休んだ」が34.8%となっている。「フル×無業」では「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が78.9%となっている。また、「フル×フル」では「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が28.3%となっている。

図表 4-12-1.2 子どもが病気等で登校できなかった場合の対処方法（複数回答）＜低学年・高学年別＞



図表 4-12-1.3 子どもが病気等で登校できなかった場合の対処方法（複数回答）＜家庭類型別＞

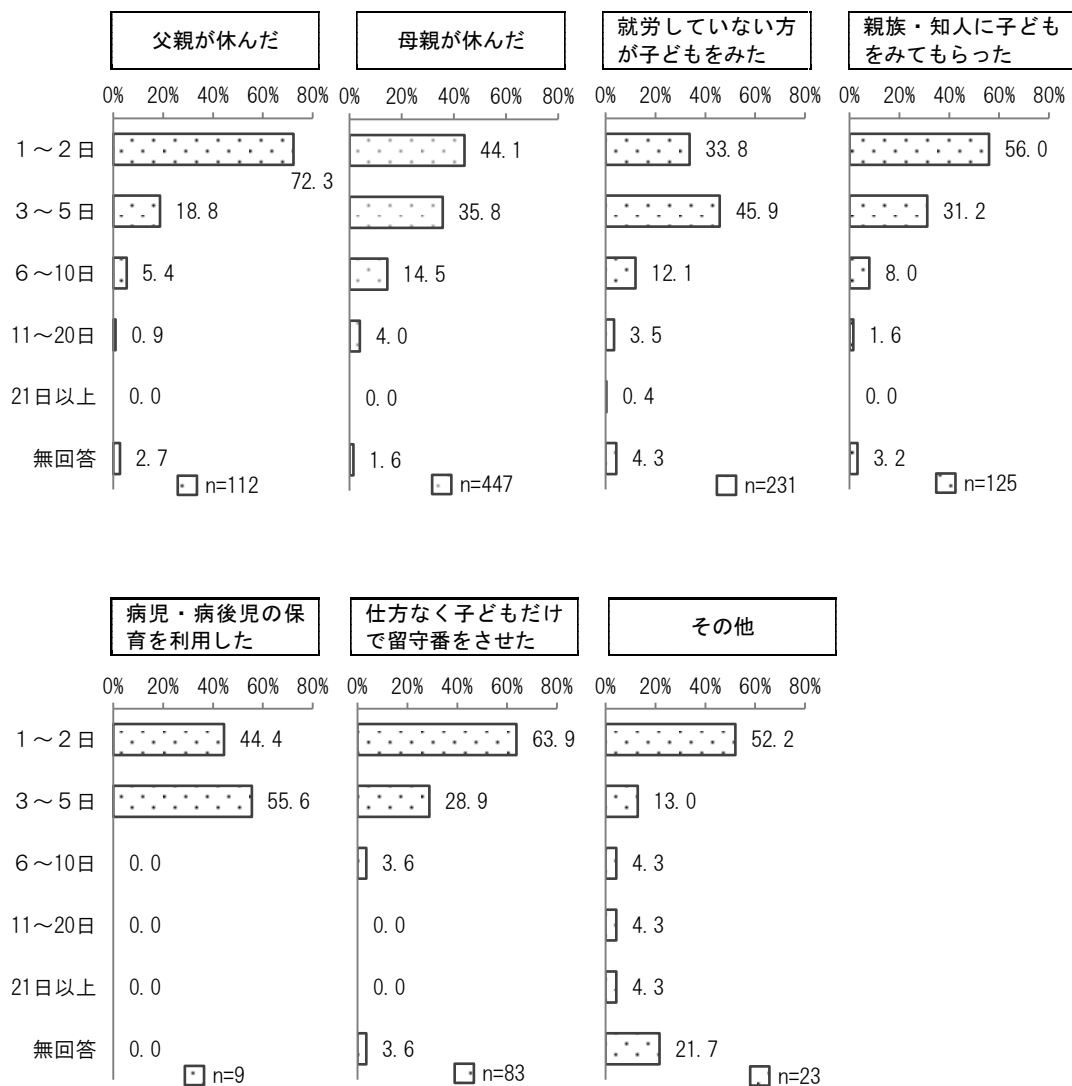


IV 小学生調査結果

- 子どもが病気やケガで登校できなかった場合の対処方法別日数について、「父親が休んだ」日数は、1年に「1～2日」が72.3%ともっとも高く、次いで「3～5日」が18.8%となっている。
- 「母親が休んだ」日数は、「1～2日」が44.1%ともっとも高く、次いで「3～5日」が35.8%となっている。
- 「就労していない方が子どもをみた」日数は、「3～5日」が45.9%ともっとも高く、次いで「1～2日」が33.8%となっている。
- 「親族・知人に子どもをみてもらった」日数は、「1～2日」が56.0%ともっとも高く、次いで「3～5日」が31.2%となっている。
- 「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」日数は、「1～2日」が63.9%ともっとも高く、次いで「3～5日」が28.9%となっている。

※「病児・病後児の保育を利用した」「その他」はコメントを省略。

図表 4-12-1.4 子どもが病気等で登校できなかった場合の対処方法別日数

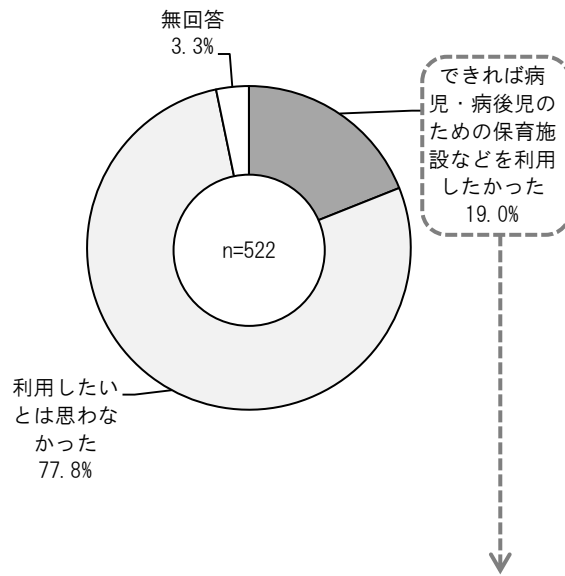


【問 12 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に○をつけた方にかがいます。】

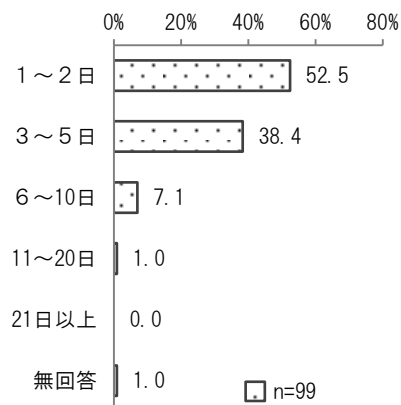
問 12-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。また、日数についても記入してください。(1つに○)

- 父母が休む等で対処した際に病児・病後児の保育の利用希望があったかについては、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したかった」が 19.0%となっている。
- 希望日数は、「1～2日」が 52.5%と最も高く、次いで「3～5日」が 38.4%となっている。

図表 4-12-2.1 父母が休む等で対処した際の病児・病後児保育の利用希望



図表 4-12-2.2 父母が休む等で対処した際の病児・病後児保育の利用希望日数



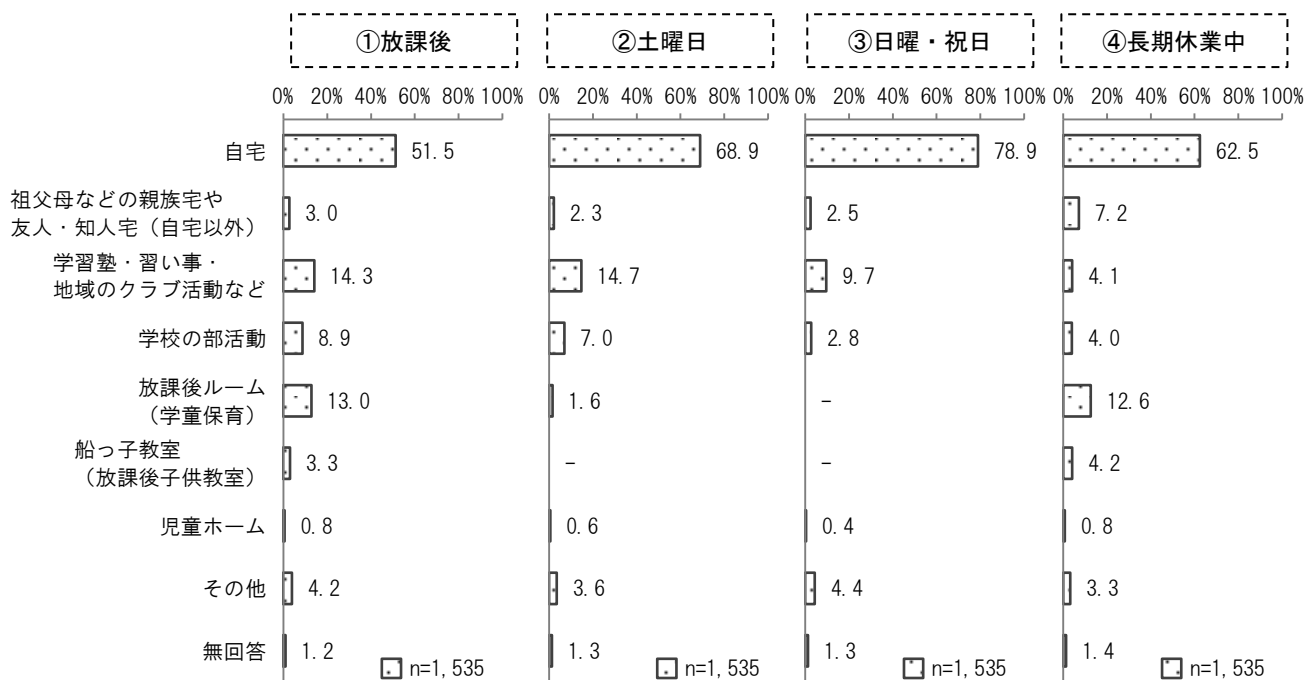
6. 放課後などの過ごし方について

放課後などを過ごす場所
1. 自宅
2. 祖父母などの親族宅や友人・知人宅（自宅以外）
3. 学習塾・習い事・地域のクラブ活動など
4. 学校の部活動
5. 放課後ルーム（学童保育）
6. 船っ子教室（放課後子供教室）
7. 児童ホーム
8. その他

問 13 あて名のお子さんについて、放課後や土曜・日曜・祝日、夏休みなど長期休業中に過ごす場所の中で、一番多いものについて、上の表の中から選んでください。
 (①～④それぞれ1つ選んで番号を記入)

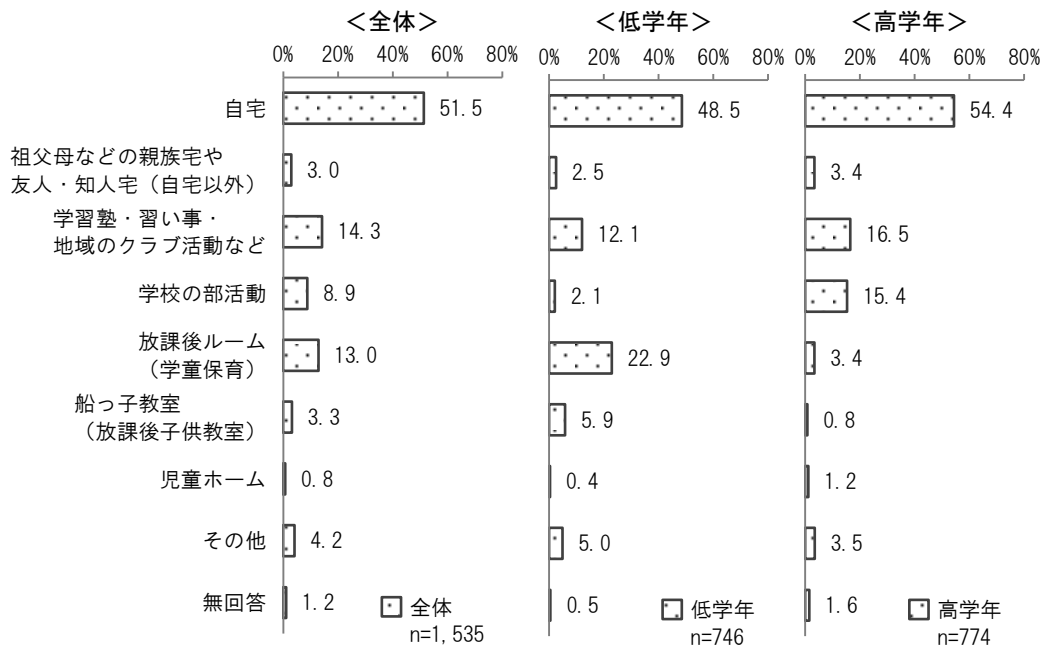
- ・①放課後にもっとも多く過ごす場所は、「自宅」が51.5%ともっとも高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が14.3%、「放課後ルーム（学童保育）」が13.0%となっている。
- ・②土曜日は、「自宅」が68.9%ともっとも高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が14.7%、「学校の部活動」が7.0%となっている。
- ・③日曜・祝日は、「自宅」が78.9%ともっとも高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が9.7%、「学校の部活動」が2.8%となっている。
- ・④長期休業中は、「自宅」が62.5%ともっとも高く、次いで「放課後ルーム（学童保育）」が12.6%、「祖父母などの親族宅や友人・知人宅（自宅以外）」が7.2%となっている。

図表 4-13.1 もっとも多く過ごす場所



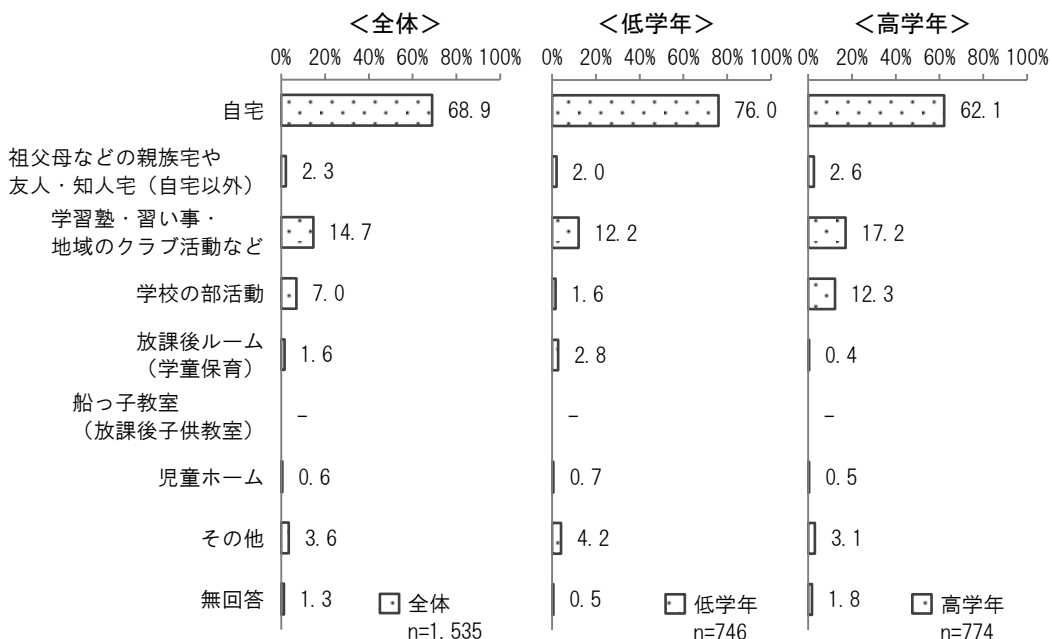
- ・①放課後もっとも多く過ごす場所を低学年・高学年別にみると、「低学年」では「自宅」が48.5%ともっとも高く、次いで「放課後ルーム（学童保育）」が22.9%、「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が12.1%となっている。
- ・「高学年」では「自宅」が54.4%ともっとも高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が16.5%、「学校の部活動」が15.4%となっている。

図表 4-13.2 ①放課後もっとも多く過ごす場所<低学年・高学年別>



- ・②土曜日にもっとも多く過ごす場所を低学年・高学年別にみると、「低学年」では「自宅」が76.0%ともっとも高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が12.2%、「放課後ルーム（学童保育）」が2.8%となっている。
- ・「高学年」では「自宅」が62.1%ともっとも高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が17.2%、「学校の部活動」が12.3%となっている。

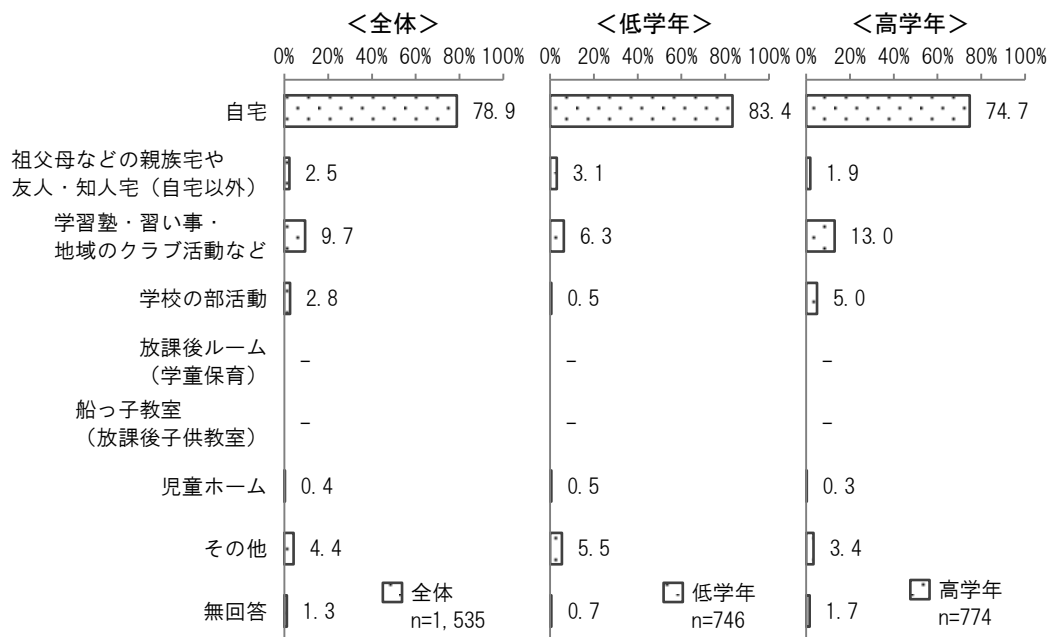
図表 4-13.3 ②土曜日にもっとも多く過ごす場所<低学年・高学年別>



IV 小学生調査結果

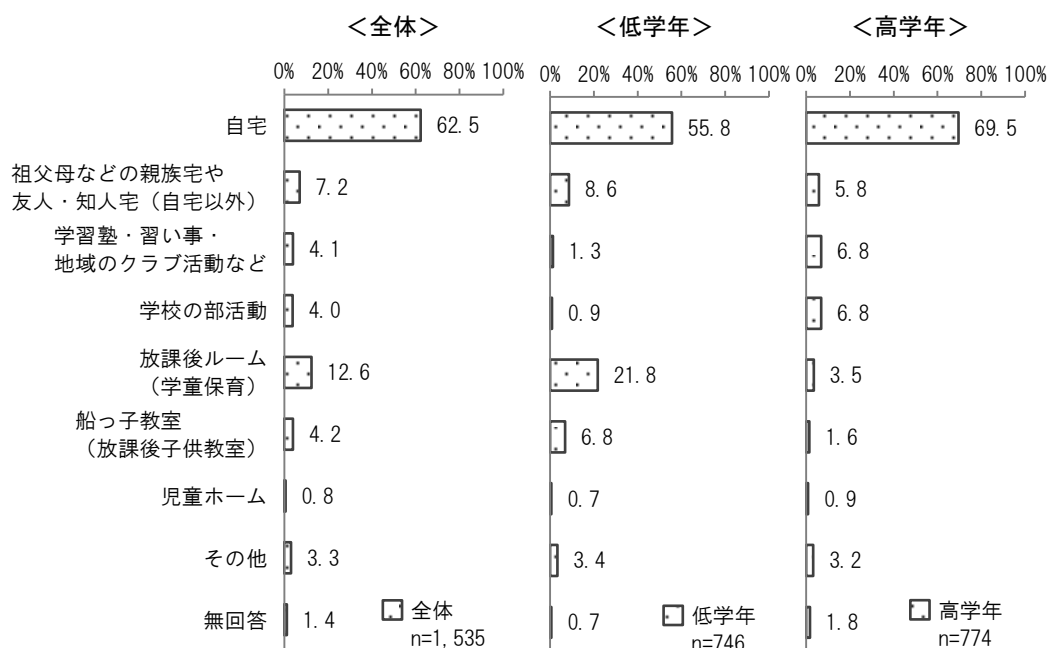
- ・③日曜・祝日にもっとも多く過ごす場所を低学年・高学年別にみると、「低学年」では「自宅」が83.4%ともっとも高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が6.3%、「祖父母などの親族宅や友人・知人宅（自宅以外）」が3.1%となっている。
- ・「高学年」では「自宅」が74.7%ともっとも高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が13.0%、「学校の部活動」が5.0%となっている。

図表 4-13.4 ③日曜・祝日もっとも多く過ごす場所<低学年・高学年別>



- ・④長期休業中にもっとも多く過ごす場所を低学年・高学年別にみると、「低学年」では「自宅」が55.8%ともっとも高く、次いで「放課後ルーム（学童保育）」が21.8%、「祖父母などの親族宅や友人・知人宅（自宅以外）」が8.6%となっている。
- ・「高学年」では「自宅」が69.5%ともっとも高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」「学校の部活動」がともに6.8%となっている。

図表 4-13.5 ④長期休業中もっとも多く過ごす場所<低学年・高学年別>



問 14 あて名のお子さんについて、放課後や土曜・日曜・祝日、夏休みなど長期休業中に、主にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。P134 の「放課後などを過ごす場所」の中から選んでください。

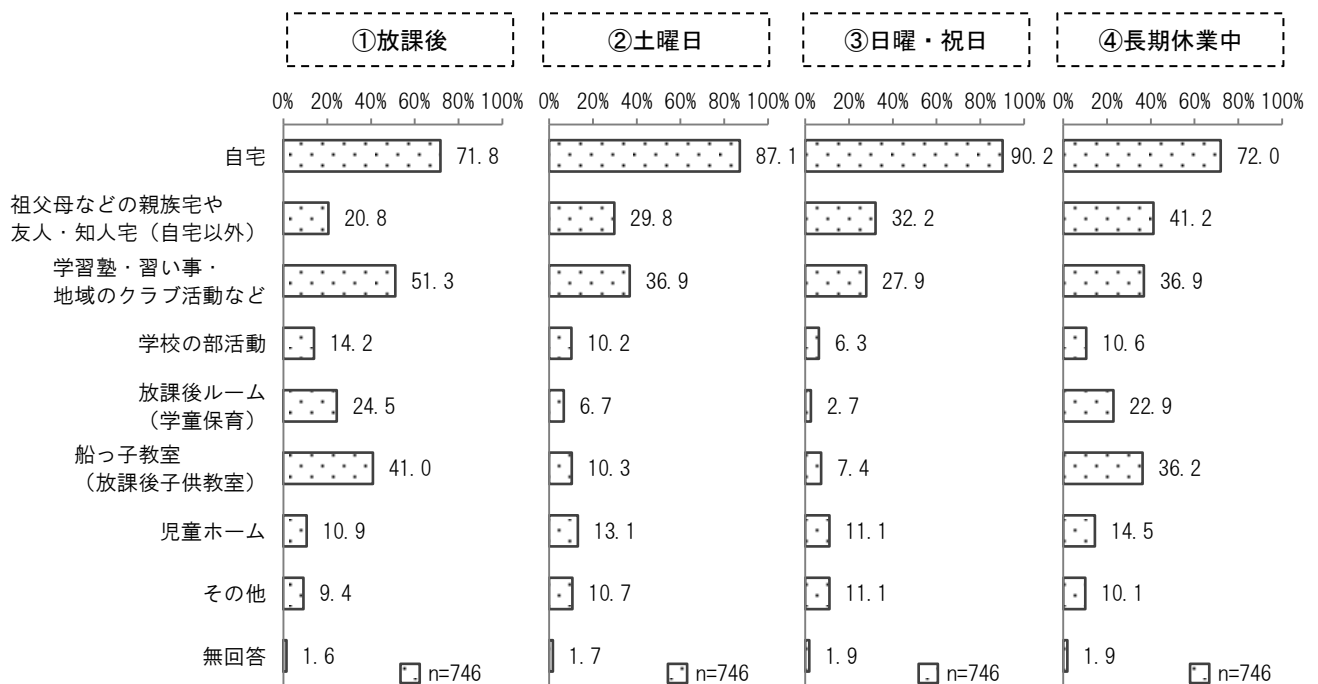
(1) 小学校低学年（1～3年生）の時の利用希望

【あて名のお子さんが小学校1～3年生の方のみ】

(①～④それぞれあてはまる番号を3つまで記入)

- ・低学年の時の①放課後の利用希望は、「自宅」が71.8%と最も高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が51.3%、「船っ子教室（放課後子供教室）」が41.0%となっている。
- ・②土曜日の利用希望は、「自宅」が87.1%と最も高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が36.9%、「祖父母などの親族宅や友人・知人宅（自宅以外）」が29.8%となっている。
- ・③日曜・祝日の利用希望は、「自宅」が90.2%と最も高く、次いで「祖父母などの親族宅や友人・知人宅（自宅以外）」が32.2%、「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が27.9%となっている。
- ・④長期休業中の利用希望は、「自宅」が72.0%と最も高く、次いで「祖父母などの親族宅や友人・知人宅（自宅以外）」が41.2%、「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が36.9%となっている。

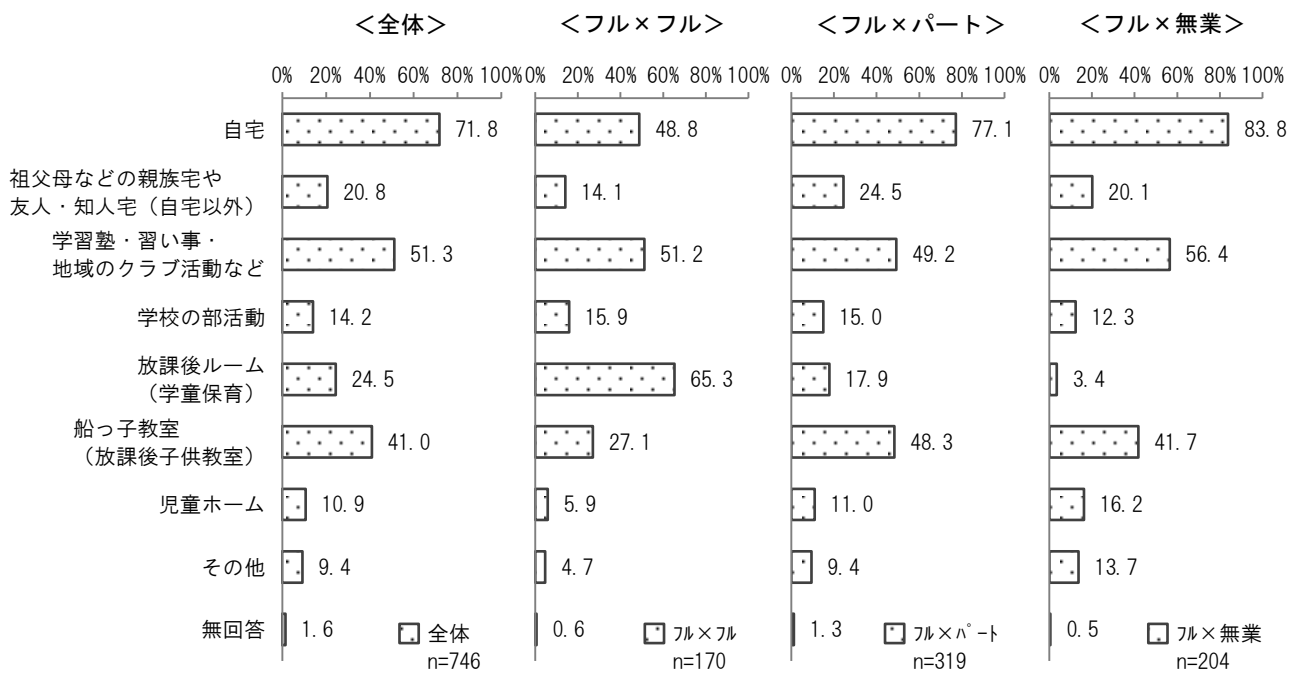
図表 4-14.1 低学年の時過ごさせたい場所（3つまで）



IV 小学生調査結果

- 低学年の時に①放課後を過ごさせたい場所を家庭類型別にみると、「フル×フル」では「放課後ルーム（学童保育）」が65.3%ともっとも高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が51.2%、「自宅」が48.8%となっている。
- 「フル×パート」「フル×無業」では「自宅」がもっとも高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」「船っ子教室（放課後子供教室）」となっている。

図表 4-14.2 低学年の時に①放課後を過ごさせたい場所（3つまで）＜家庭類型別＞



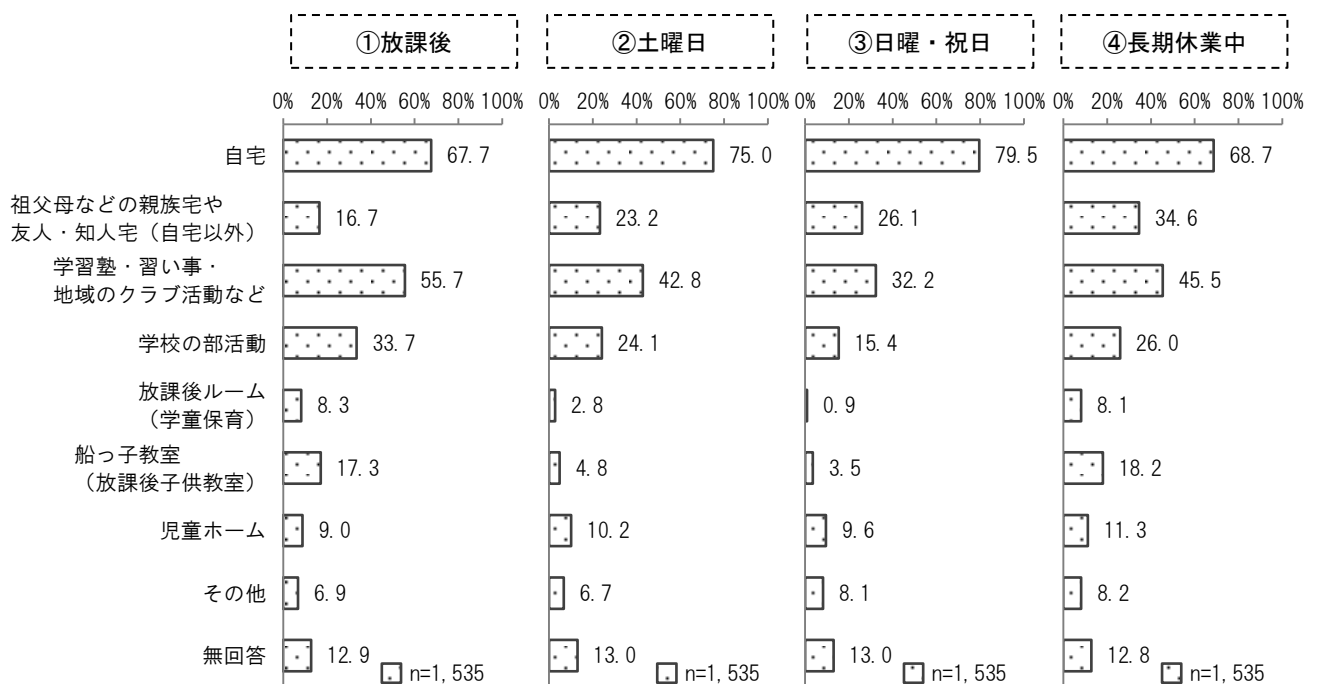
(2) 小学校高学年（4～6年生）の時の利用希望

【すべての方】

(①～④それぞれあてはまる番号を3つまで選んで記入)

- 高学年の時の①放課後の利用希望は、「自宅」が67.7%と最も高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が55.7%、「学校の部活動」が33.7%となっている。
- ②土曜日の利用希望は、「自宅」が75.0%と最も高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が42.8%、「学校の部活動」が24.1%となっている。
- ③日曜・祝日の利用希望は、「自宅」が79.5%と最も高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が32.2%、「祖父母などの親族宅や友人・知人宅（自宅以外）」が26.1%となっている。
- ④長期休業中の利用希望は、「自宅」が68.7%と最も高く、次いで「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」が45.5%、「祖父母などの親族宅や友人・知人宅（自宅以外）」が34.6%となっている。

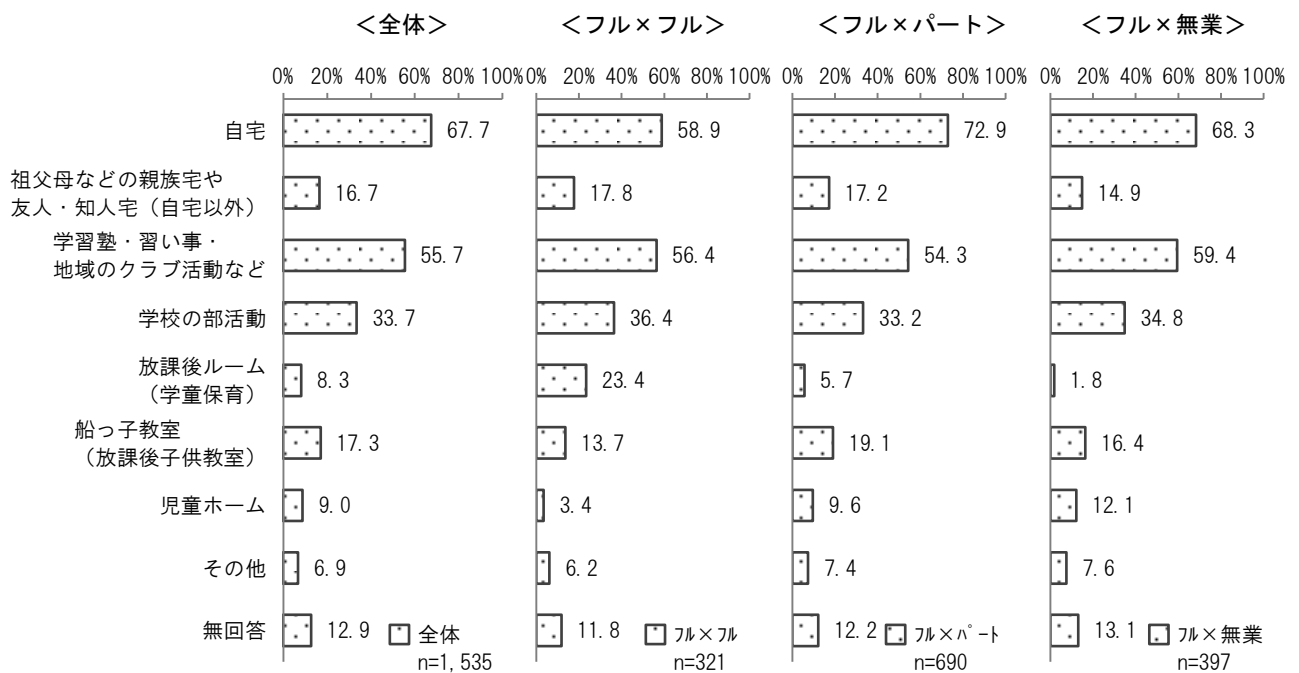
図表 4-14.3 高学年の時過ごさせたい場所（3つまで）



IV 小学生調査結果

- 高学年の時に①放課後を過ごさせたい場所を家庭類型別にみると、上位の項目順はいずれの家庭類型も「自宅」「学習塾・習い事・地域のクラブ活動など」「学校の部活動」となっている。
- 「フル×フル」では「放課後ルーム（学童保育）」が 23.4%であり、「フル×パート」「フル×無業」に比べて高くなっている。

図表 4-14.4 高学年の時に①放課後を過ごさせたい場所（3つまで）＜家庭類型別＞



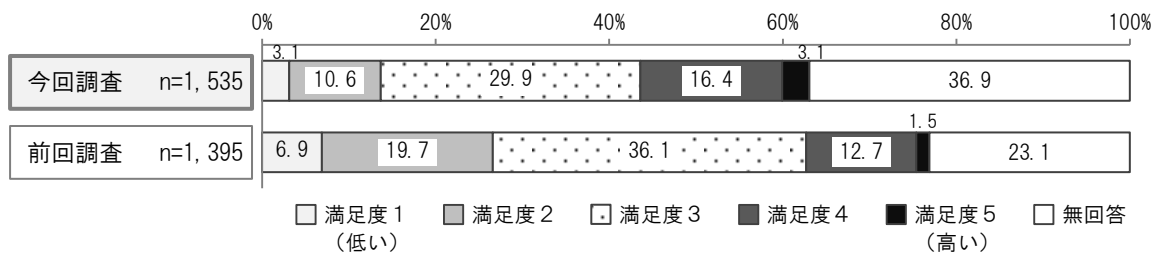
7. 子育て環境や支援について

問 15 船橋市における子育ての環境や支援への満足度についてうかがいます。
(1つに○)

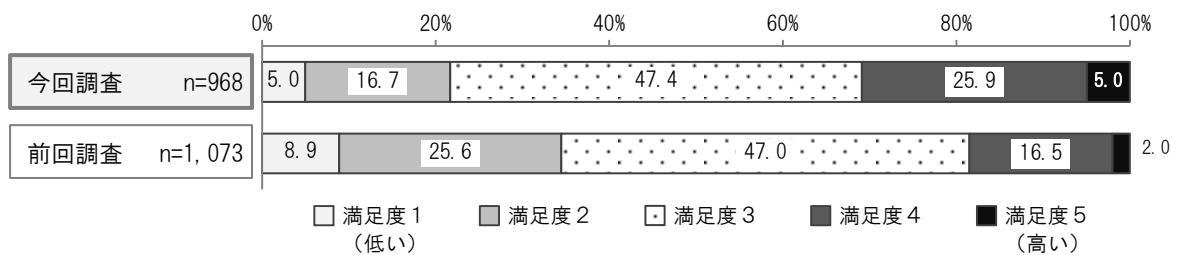


- 船橋市における子育て環境や支援への満足度は、「満足度3」が29.9%ともっとも高く、次いで「満足度4」が16.4%、「満足度2」が10.6%となっている。
- 「満足度4」「満足度5（高い）」を合わせると19.5%、「満足度1（低い）」「満足度2」を合わせると13.7%となっている。
- 無回答を除いた割合は、「満足度4」「満足度5（高い）」を合わせると30.9%であり、前回調査の18.5%より12.4ポイント増加している。

図表 4-15.1 子育て環境や支援への満足度＜経年比較＞



図表 4-15.2 子育て環境や支援への満足度＜経年比較・無回答除く＞



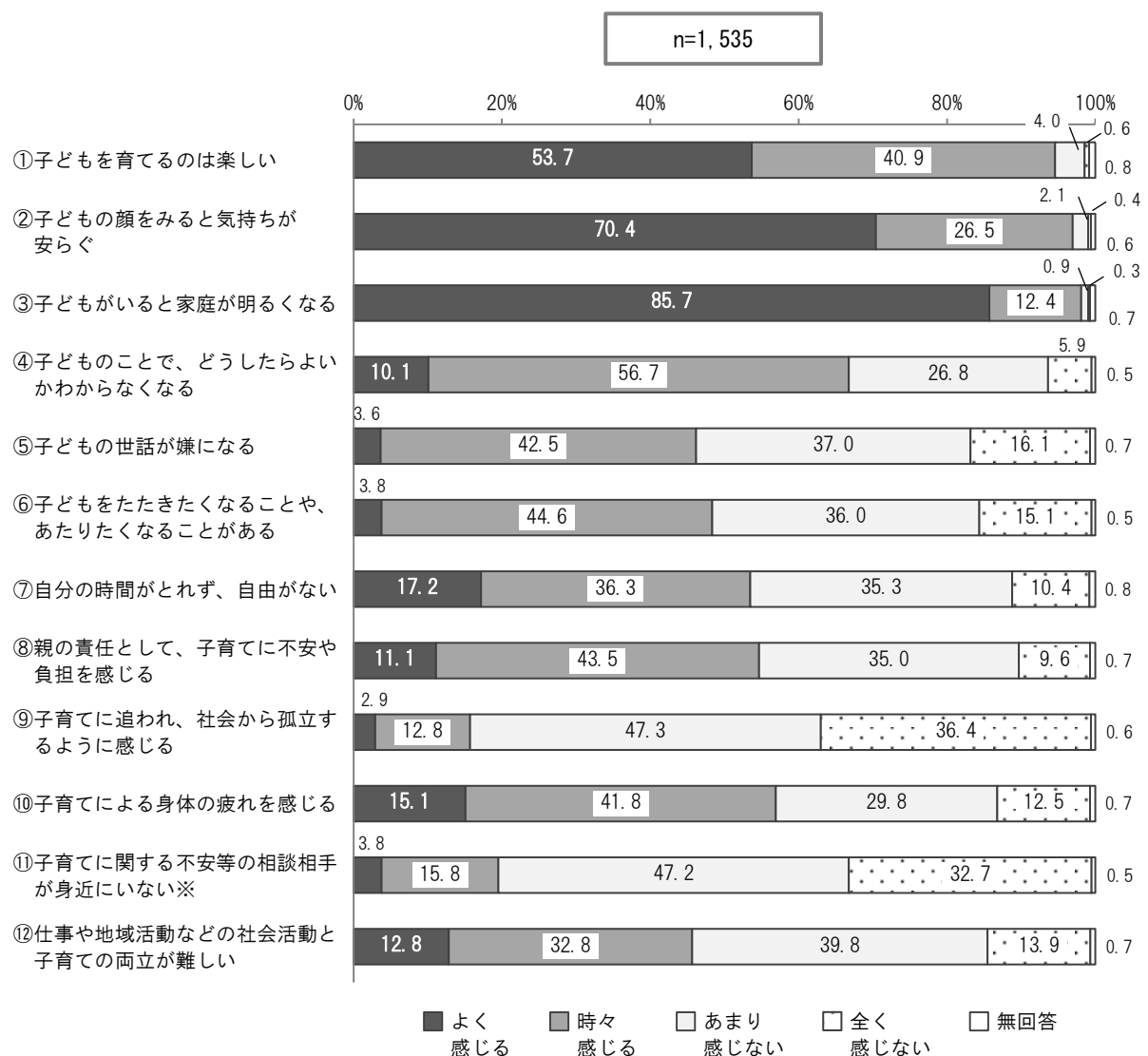
IV 小学生調査結果

問 16 現在、子育てをする上で次のようなことを感じることはありますか。

(①～⑫それぞれ1つに○)

- 子育てをする上で感じることに、**「①子どもを育てるのは楽しい」「②子どもの顔をみると気持ちが安らぐ」「③子どもがいると家庭が明るくなる」**は、「よく感じる」が50%以上であり、「時々感じる」を合わせると90%以上となっている。
- 一方、「⑦自分の時間がとれず、自由がない」は、「よく感じる」が17.2%、「⑩子育てによる身体の疲れを感じる」は15.1%となっている。
- 「④子どものことで、どうしたらよいかわからなくなる」は、「時々感じる」が56.7%であり、「よく感じる」を合わせると66.8%となっている。

図表 4-16 子育てをする上で感じること



※⑪子育てに関する不安や悩みを気軽に相談できる相手が身近にいない

問 17 以下の(1)～(12)について、あなたはどのように感じていますか。あなたの考えにもっとも近いと思う番号を選んでください。
 ((1)～(12) それぞれ1つに〇)

・市の子ども・子育て支援施策については、「できている」「まあまあできている」を合わせた『できている』の割合は、「(2) 子どもの居場所づくり」が 73.4%ともっとも高く、次に「(5) 親子のふれあいの場づくり」が 53.5%、「(4) 母子保健の充実」が 53.3%となっている。

・一方、「あまりできていない」「できていない」を合わせた『できていない』の割合は「(12) 仕事と家庭の両立支援の推進」が 19.3%ともっとも高く、次に「(1) 幼児期の学校教育・保育の充実」が 17.6%となっている。

図表 4-17 市の子ども・子育て支援施策に感じること

